

# 岐阜県博物館報

第44号

2021  
岐阜県博物館

## はじめに

岐阜県博物館は、県立の総合博物館として昭和 51 年 5 月に開館して以来、「岐阜県にゆかりのあるもの」を中心とした調査研究・資料収集・保管・展示を行うことで、県民に広く学びの場を提供してまいりました。この間、岐阜県の学術文化及び博物館教育の拠点として、大変多くの皆様にご利用いただきましたことを心から感謝申し上げます。

令和 2 年度は館内での展覧会（特別展、特別企画展、企画展、マイミュージアムギャラリー展示）のほか、外部機関との連携企画展や移動展を多数計画しておりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症のまん延防止のための非常事態宣言が国内全域に発令され、国内の各所で公共施設が閉鎖となり、当館も 4 月 3 日から 5 月 18 日にわたって臨時休館し、当初の計画の変更を余儀なくされました。

こうした中で、特別展「光秀が駆けぬけた戦国の岐阜」では、信長・秀吉・家康や明智光秀とともに活躍した岐阜ゆかりの武将にかかわる文書・甲冑・出土品などを展示し、美濃と飛騨の地と人が中世～近世の時代の変化に果たした役割を探る展示を行いました。特別企画展「みんなの恐竜学」では、県内初公開のカマラサウルスの幼体の実物全身骨格や、国内初のタイ王国恐竜足跡化石産地の VR 展示などにより幅広い世代が楽しめる恐竜展を開催しました。企画展「ヒアリがやってくるー外来生物とはなにものかー」では、当館所蔵の外来生物の標本を展示して、岐阜県で見られる外来生物の現状から、ふるさと岐阜の豊かな自然が抱える問題を考える展示を行いました。このほか、博物館・図書館連携企画展「千磨百錬 よみがえる赤羽刀 前篇」、博物館・岐阜大学連携企画展「岐阜大学と岐阜県植物誌」、移動展「飛騨と岐阜県植物誌」等、館外で開催する展覧会も実施することができました。しかし、博物館・図書館連携企画展「オリンピックの歴史とデザイン」など、当初予定していた展示をやむなく中止にしたものもありました。

令和 3 年度は、特別展「薩摩の陶と刀ー響きあう美濃との歴史と文化ー」では、鹿児島県と岐阜県とのあいだで結ばれた姉妹県盟約 50 周年を記念して、岐阜の美術工芸として馴染みの深い「陶磁器」と「刀剣」に着目し、鹿児島県の「薩摩焼」と「薩摩刀」に焦点を当てた展覧会を開催します。特別展「今日から防災！ー過去を知り、未来へ備えようー」では、自然災害に焦点を当て、発生する仕組みを解説しつつ、災害発生時にはどのようなことが起こるのかや、家庭でできる防災や災害発生時のための備えについても展示、紹介してまいります。

このほか、博物館・図書館連携企画展、博物館・岐阜大学連携企画展、移動展等、館外の県内各地で開催する展覧会も計画しています。また、三重県総合博物館（MieMu）との交流企画講演会を含む全 18 回の講演会や、収蔵庫探検などを含む全 23 回のけんぱく教室を開催するなど、広く県民の皆様が親しみ、学んでいただける催し物を多数計画しております。加えて、調査研究活動、資料収集保管活動、サポーター協働事業、外部機関との連携イベント、収蔵品や資料の館外展示による観覧機会の提供など、より一層の魅力発信に努めてまいります。

ここに、令和 2 年度の活動の記録を紹介する「岐阜県博物館報 第 44 号」を刊行いたしました。県民の皆様をはじめ多くの方々にご高覧いただき、当館の更なる発展のために引き続きご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和 3 年 4 月 1 日

岐阜県博物館長 副 島 雅 浩

# 目 次

はじめに

## I 博物館概要

1 設置目的 .....	1
2 基本的性格	
3 基本方針	
4 沿革 .....	2
5 歴代館長名簿 .....	3
6 施設・設備 .....	4

## II 令和3年度の組織・体制

1 職員 .....	6
2 展示活動 .....	7

## III 令和2年度のあゆみ

1 職員 .....	9
2 岐阜県博物館協議会 .....	10
3 日誌抄 .....	10
4 実施事業の概要 .....	11
5 展示活動 .....	11
6 調査研究活動 .....	24
7 資料収集活動 .....	28
8 教育普及活動 .....	29
9 利用状況 .....	40
10 博物館関係団体 .....	41

IV 利用案内（令和3年度） .....	42
----------------------	----

# I 博物館概要

## 1 設置目的

岐阜県の人文、自然両分野にわたる諸資料を収集、保管、調査研究、公開し、併せて教育普及活動を行うことにより、広く県民の学習の場となり、また文化財保護の精神の涵養に役立て、新しい教養と文化の発展に寄与することを目的とする。

## 2 基本的性格

- ・岐阜県の人文（考古、歴史、民俗、美術工芸）、自然（動物、植物、地学、古生物）等に関する諸資料の収集保管、展示、調査研究及びそれらの活用を図る総合博物館とする。
- ・県内外の博物館及び相当施設との活発な交流を図るとともに、本県の中央博物館としての役割を果たす内容と設備を有する施設とする。
- ・学校・社会教育機関等との密接な連携を図り、利用者が楽しく学習することができ、未来への研究心と創造性を開発できるような生涯学習機関とする。
- ・館蔵資料や地域情報のデジタル化を進め、ホームページの広報機能と学習機能を充実させる。
- ・資料の収集及び保存並びに展示に関する専門的な調査研究を推進する。

## 3 基本方針

### (1) 資料収集活動

県内の人文・自然等に関する資料を収集する。

資料は、実物を中心とするが、必要に応じて厳密な考証に基づく復元模型を含める。

寄贈、寄託、借用、購入等により収集する。

### (2) 展示構成

展示は、常設展示と企画展示とする。

常設展示は、人文・自然の2部門に分け、それぞれ総合展示と課題展示を行う。

総合展示は、概説的な内容とし、誰もが親しめる平易な展示とする。

課題展示は、コーナー毎にテーマを設定して、概説にとどまらない、より深く理解するための展示とする。

企画展示は、一定期間に、特定のテーマを設定して年に数本を行う特別展・資料紹介展などがある。

展示は以下の点に留意する。

- ・生涯学習の場として、幅広い年齢層に親しめる展示

- ・資料の単なる羅列ではなくストーリー性のある展示
  - ・各時代の特色やテーマの本質をとらえた展示
  - ・できる限り実物資料の展示とするが、図表や模型等の資料も活用した展示
  - ・できる限り資料に直接触れることのできる展示
  - ・視聴覚機器などを取り入れ、見る人に強く訴える展示
  - ・解説が明確で分かりやすい展示
- 各展示室の主題と内容は、次のとおりである。
- ・人文展示室（人文総合展示）  
主題「郷土のあゆみ」…先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示する。
  - ・自然展示室1（自然総合展示）  
主題「郷土の自然とおいたち」…郷土の自然の概要を系統的に展示する。
  - ・自然展示室2（自然課題展示）  
主題「郷土のさまざまな自然」…特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示する。
  - ・特別展示室、企画展示室  
一定期間に、特定のテーマを設定して、資料紹介するなど、年に数本の特別展・企画展を行う。特別展期間中の企画展示室や企画展期間中の特別展示室では、人文課題展示を行う。

### (3) 調査研究活動

- ・博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行う。
- ・博物館資料の保管及び展示等に関する技術的な研究を行う。

### (4) 教育普及活動

- ・展示や博物館資料に関連した教育普及活動を行う。
- ・学校教育や社会教育の関係機関・団体との連携・協力を努める。
- ・サポーターとの協働活動を推進する。
- ・マイミュージアムギャラリーを運営し、個人などによって収集・所蔵されているコレクションを公開展示することにより、生涯学習の成果発表の場とするなど、県民文化の向上と交流を図る。

## 4 沿革

		7月	特別展「奥飛騨の自然」	4月	特別展「川に生きる～水運と漁労～」			
		9月	人文展示室1を改装	8月	恐竜の歯等荘川村で発見			
		10月	開館 10周年記念式典挙 行	9月	特別展「美濃山地の自然」			
昭和46年	3月		開館 10周年記念展「ふ るさとの祭り」	10月	入館者 160万人を突破			
	4月		特別展「飛騨の弥生時代」 入館者 110万人を突破	12月	ユタ州訪問(花フェスタ '95 展示化石の借用、交 流の推進)			
	6～9月		特別展「外国から侵入し た生きものたち」	平成7年	3月	マイ・ミュージアム棟工 事の完成		
昭和47年	4月		特別展「飛騨の匠」 旧徳山村民家移築復元			ハイパーハイビジョン風 土記「ひだ・みの紀行美 濃路編ソフト完成		
昭和48年	8月		自然展示室1を改装	4月	特別展「岐阜の淡水魚」 花フェスタ'95にユタ州 恐竜化石を展示			
昭和49年	3月		特別展示室ショーケース 改修	7月	マイ・ミュージアム(マ ルチメディア情報セン ター)落成式典挙 行			
	10月		特別展「ふるさとの湿原」 中部未来博'88 記念展	8月	恐竜ゼミナール GIFU'95 開催			
昭和50年	3月		「中山道～美濃十六宿～」 特別展「中生代の化石」 入館者 120万人を突破	10月	特別展「美濃・飛騨の古 代史発掘～律令国家の時 代～」			
	7月		特別展「ふるさとの野鳥」 16日恐竜足跡化石白川 村で発見	11月	入定三百年記念「円空展」 (共催 名古屋市)			
昭和51年	1月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」	平成元年	4月	入定三百年記念「円空展」 (共催 名古屋市)		
	4月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」	7月	5月	入館者 170万人を突破		
	5月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」	11月	7月	開館 20周年記念展「恐 竜のふるさとユタ」		
	7月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」	平成2年	4月	8月	アメリカ合衆国ユタ州プ リガムヤング大学附属地 球科学博物館と友好提携 調印式挙	
	8月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」	7月	7月	10月	飛騨美濃合併 120周年記 念展「岐阜県の明治維新」	
	10月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」	平成3年	3月	11月	飛騨美濃合併 120周年記 念「文化講演会」 (阿川弘之氏、山田智彦氏 (作家))	
	11月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」	4月	4月	平成9年	3月	ハイパーハイビジョン風 土記「ひだ・みの紀行」 中山道編ソフト完成
	11月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」	平成2年	4月	7月	特別展「花と鳥のイリュ ージョン～江戸の学問と芸 術～」	
昭和52年	5月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」	7月	7月	9月	特別展「薬草のふるさと 伊吹」	
	7月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」	10月	10月	11月	入館者 180万人を突破 棚橋賞受賞「岐阜県博物 館「マイ・ミュージアム」 ～来るべき世紀の新しい 博物館を目指して～」 財団法人日本博物館協会 表彰	
	11月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」	平成3年	3月	平成10年	3月	ハイパーハイビジョン風 土記「ひだ・みの紀行」 飛騨街道・郡上街道編ソ フト完成
昭和53年	4月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」	4月	4月	4月	ハイパーハイビジョン風 土記「ひだ・みの紀行」 完成記念事業：風土記 フォーラム「マルチメ ディアで調べる岐阜の魅 力」	
	7月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」	7月	7月	7月	特別展「つづつのかぶと むし」	
	10月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」	10月	10月	9月	特別展「能面へのいざな い～白山山麓から～」	
	11月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」	平成4年	3月	平成11年	7月	特別展「恐竜時代～モン
昭和54年	4月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」	4月	4月			
	7月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」	7月	7月			
	10月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」	10月	10月			
	11月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」	11月	11月			
昭和55年	4月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」	平成5年	3月			
	5月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」	4月	4月			
	7月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」	9月	9月			
	10月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」	10月	10月			
昭和56年	4月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」	11月	11月			
	5月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」	平成6年	1月			
	7月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」	3月	3月			
	10月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」					
昭和57年	4月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」					
	7月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」					
	10月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」					
昭和58年	4月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」					
	5月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」					
	7月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」					
	10月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」					
昭和59年	4月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」					
	7月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」					
	8月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」					
	10月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」					
昭和60年	4月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」					
	7月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」					
	10月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」					
	12月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」					
昭和61年	4月		特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの鳥」					



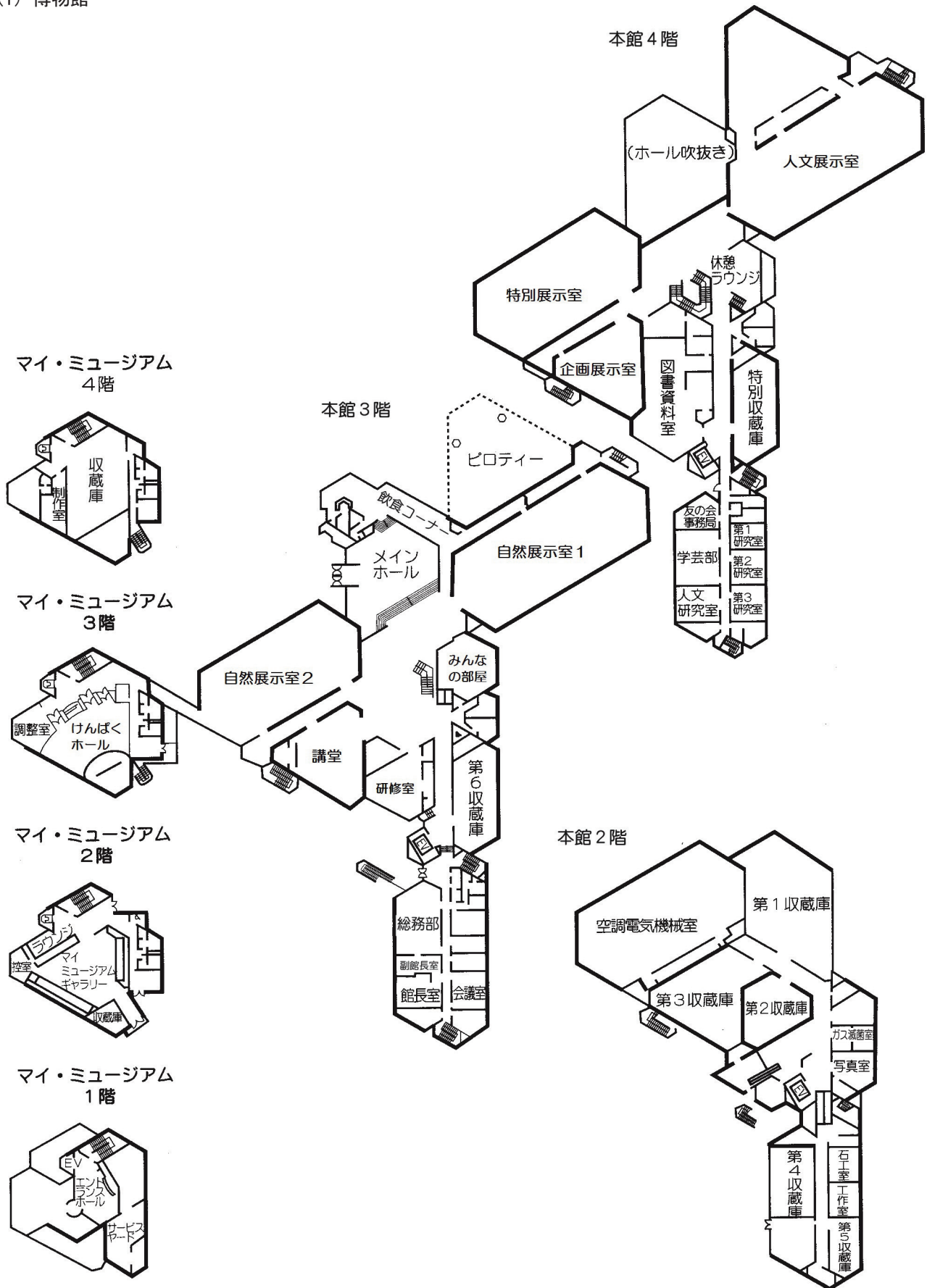
	ゴルと手取層群の恐竜たち〜	9月	特別展『名水・温泉・名勝』展〜水と大地のハーモニー〜	平成27年4月	あらたな“絆”を求めて〜百年公園駐車場を無料化特別展
	入館者190万人を突破			4月	「天下人の時代〜信長・秀吉・家康と美濃〜」特別展
9月	特別展「恐竜時代」				
10月	特別展入館者4万人突破	平成18年4月	開館30周年記念式典挙行	9月	特別展
	特別展「水とまつり〜古代人の祈り〜」		開館30周年記念特別展		「自然のくすり箱〜薬草とわたしたちの暮らし〜」
	特別陳列「円空展〜魂を木に刻んで〜」	5月	開館30周年記念植樹	平成28年7月	飛騨美濃合併140周年・岐阜県博物館開館40周年記念特別展
平成12年7月	特別展「海を越えた明治〜ヨーロッパが愛した焼き物の美〜」		モリゾー・キッコロ来館		「新・恐竜学〜鳥になった恐竜の脳科学〜」
		9月	全国植樹祭中濃サテライト会場〜来館者全員招待入館〜	8月	入館者290万人を突破
		8月	入館者240万人を突破		カリコテリウム類の化石（国内初発見）特別展示
	特別展「すばらしき東濃の自然、再発見〜巨大ヒノキが見てきた生き物たち〜」	9月	飛騨美濃合併130周年記念行事博物館1日無料開放	9月	飛騨美濃合併140周年・岐阜県博物館開館40周年記念特別展
平成13年7月	入館者200万人を突破				「東海地方の円空仏」
	特別展「あのころいた鳥〜そういえばトキもおったげな〜」	平成19年7月	文化の日博物館無料開放特別展	平成29年4月	SNS開設
	特別展「七代目団十郎と国貞、国芳〜芝居、錦絵、中山道〜」		「恐竜と生命の大進化〜中国雲南5億年の旅〜」	7月	民間施設連携開始
		9月	特別展「発掘された日本列島2007〜新発見考古速報展〜」	9月	特別展「生きている大地〜地質図が語るぎふの大地〜」
	ハイビジョン静止画番組「石ころの動物園」(マイミュージアムギャラリー)	10月	入館者250万人を突破		中濃地域連携企画展
	全国ハイビジョン手づくりソフトフェスタ2001	11月	文化の日博物館無料開放開始	10月	特別展「壬申の乱の時代〜美濃国・飛騨国の誕生に迫る」
	グランプリ受賞				関市シティバス「百年公園前」バス停新設
平成14年2月	NEDO共同研究事業太陽光発電システム完成	平成20年5月	日本生命財団から図書「岐阜県博物館総合案内」3,800冊の寄贈	平成30年4月	12月 収藏品選集製作
3月	バリアフリー対策事業小型モノレール(スロープカー)完成	9月	特別展「骨のあるやつ」	平成30年4月	特別企画展「兼定 刀都・関の名工」
4月	特別展「温泉展〜湯の華からのメッセージ〜」	平成21年9月	特別展「人、和して楽しむ〜岐阜の文楽〜」	5月	入館者300万人を突破
5月	入館者210万人を突破	10月	入館者260万人を突破	7月	特別展「理科室からふるさとの自然を見つめて〜知れば知るほど面白い標本の世界〜」
10月	特別展「中山道街道400年」	平成22年7月	特別展「川ーカワ・イイね!〜流れがつくり出す自然〜」		博物館機能の全県展開本格稼働
平成15年7月	特別展「昭和くらしの歩み〜30年代を中心に〜」	平成23年9月	開館35周年記念特別展「濃尾震災120年」	9月	特別展「信長・秀吉・家康と美濃池田家〜大御乳・池田恒興・輝政の戦い〜」
9月	特別展「野の幸・山の幸、岐阜〜発見!キノコと山菜、薬草の魅力〜」	平成24年7月	入館者270万人を突破	令和元年7月	特別展「剣精畫貫白虹 幕末美濃の剣豪と名刀」
10月	入館者220万人を突破	9月	特別展「飛騨・美濃の信仰と造形」	9月	特別展「岐阜は日本のど真ん中〜岐阜県植物誌は語る〜」
平成16年7月	特別展「タイムトラベル 石器時代〜大昔はどんな暮らしをしていたの?〜」	平成25年9月	特別展「弥生大集落〜荒尾南遺跡が語るモノと心〜」	12月	入館者310万人を突破
				令和2年4月	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4/4〜5/18を臨時休館
9月	特別展「里山ミュージアム〜ドングリころころオタカびゅーん〜」	平成26年2月	入館者280万人を突破		
平成17年4月	高校生以下入館料年間無料化(特別展入館料無料化)	7月	特別展「奇なるものへの挑戦 明治大正・異端の科学」	9月	特別展「光秀が駆けぬけた戦国の岐阜」
5月	入館者230万人を突破	9月	特別展	12月	特別企画展「みんなの恐竜学」
7月	特別展「線路はつづくよ		「里山いま昔〜人と自然		

## 5 歴代館長名簿

	在職期間(年度)	氏名		在職期間(年度)	氏名
1	昭和51年	小幡忠良	15	平成15年〜平成16年	武山栞司
2	昭和52年〜昭和54年	松尾克美	16	平成17年	下畑五夫
3	昭和55年〜昭和56年	大橋桃之輔	17	平成18年	古川和明
4	昭和57年〜昭和58年	吉本幹彦	18	平成19年〜平成20年	高屋一行
5	昭和59年	関谷美智男	19	平成21年	浅野裕司
6	昭和60年〜昭和61年	廣田照夫	20	平成22年	石田克
7	昭和62年〜昭和63年	森崎利光	21	平成23年〜平成24年	河合正明
8	平成元年〜平成2年	伊藤秀幸	22	平成25年〜平成26年	後藤弘之
9	平成3年〜平成4年	篠田幸男	23	平成27年	杉原茂男
10	平成5年〜平成6年	横山勢津男	24	平成28年	水谷淳子
11	平成7年〜平成8年	清水廣美	25	平成29年	中島守
12	平成9年〜平成10年	高田晃	26	平成30年〜令和元年	平井克昭
13	平成11年〜平成12年	遠藤祐神	27	令和2年	川本敏
14	平成13年〜平成14年	高橋宏之	28	令和3年	副島雅浩

## 6 施設・設備

### (1) 博物館



主要室（名称及び面積）

本館	室名	面積 (㎡)	マイ・ミュージアム	室名	面積 (㎡)
2階	第1収蔵庫	314.1	1階	エントランスホール	76.0
	第2収蔵庫	126.0			
	第3収蔵庫	192.0			
	第4収蔵庫	99.4			
	第5収蔵庫	55.0			
3階	自然展示室1	583.8	2階	マイミュージアムギャラリー 収蔵庫室	202.3 25.3 18.5
	自然展示室2	478.8			
	みんなの部屋	95.4			
	研修室	174.5	3階	けんぱくホール 調整室	192.3 47.0
	第6収蔵庫	93.2			
		142.8			
4階	人文展示室	942.3	4階	収蔵庫等	281.3
	特別展示室	478.8			
	企画展示室	193.2			
	図書資料室	232.2			
	特別収蔵庫	142.8			
本館合計		4,344.3	マイ・ミュージアム棟合計		842.7

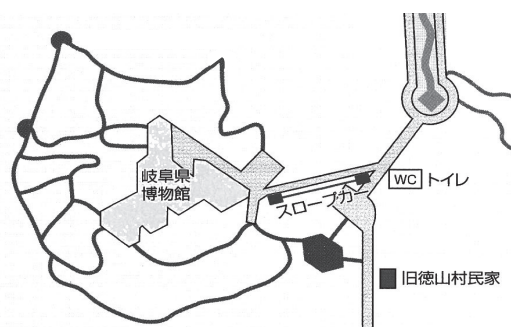
(2) 館外施設

① 自然観察のこみち

館内における“郷土の自然”の展示に対応し自然環境の中に生きた展示として、季節とともに移り変わる自然のすがたを観察できるようにしたこみちである。

全長約 830mで、途中見晴らし台が2か所、ツツジの群生地、百草園、マンサクの林などが設けられている。

なお、樹林の特徴などが学習できるようグリーンアドベンチャー常設コースとして、樹木にQ&Aパネルを設置している。



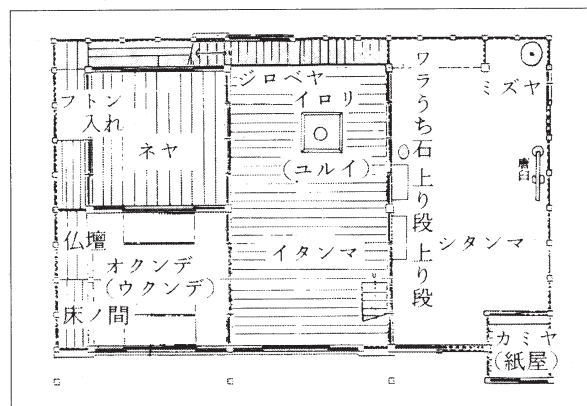
自然観察のこみち

② 旧徳山村民家

徳山ダム建設に伴い、徳山村は廃村となった（揖斐川町に合併）が、徳山の生活を後世に語り継ぐため、当時徳山村戸入在住の宮川澄雄さんから家屋の提供を受け、昭和62年10月7日、移築復元を完了したもので、生活用具なども展示し、無料公開している。

平成30年11月、「旧宮川家住宅主屋」として国登録有形文化財に登録された。令和元年度より保存活用事業を進めている。

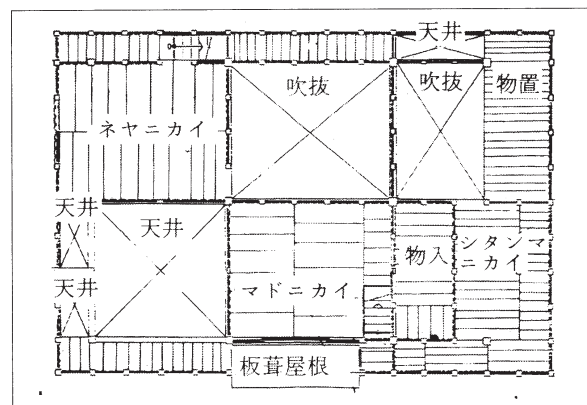
- ・様式：木造かやぶき2階建、南平入り
- ・主材：ブナ、トチ
- ・建面積：120.97㎡
- ・延面積：197.48㎡
- ・間取り：右図参照
- ・建築年代：幕末から明治前期ごろと推定
- ・屋根：入母屋、切り落とし窓つき



▲ 1階間取り図



旧徳山村民家



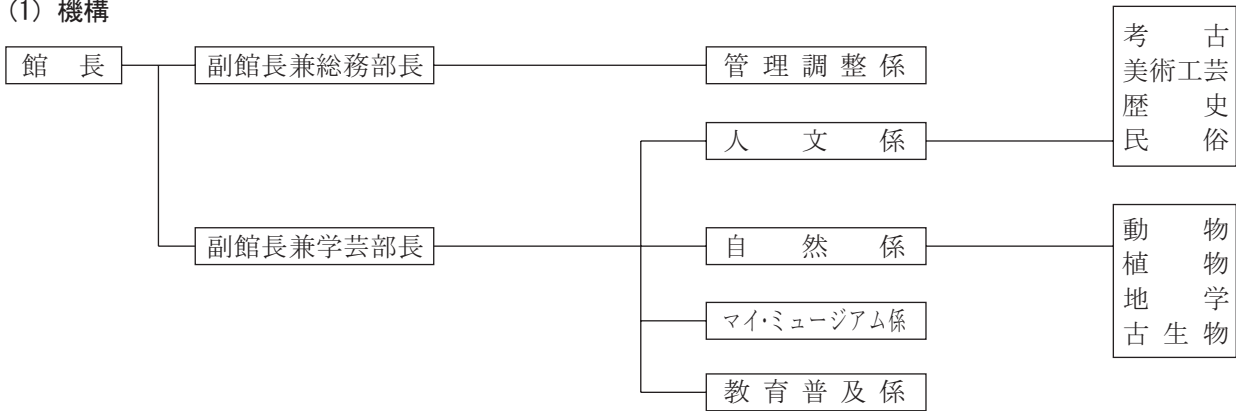
▲ 2階間取り図



## II 令和3年度の組織・体制

### 1 職員

#### (1) 機構



#### (2) 職員名簿

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長	副島雅浩	副館長兼学芸部長	山田昭彦	[マイミュージアム係] 係長	南本有紀
副館長兼総務部長	寺嶋祐三			主任職員	加賀隆志
<b>【総務部】</b>		<b>【学芸部】</b>		補助職員	益田豊
[管理調整係]		[人文係]			
課長補佐兼係長	大野英悟	係長(考古)	近藤大典	[教育普及係]	
課長補佐	林英和	主査(美術)	立花昭	課長補佐兼係長	小島剛太
主査	酒井田恭子	主任(歴史)	長野宜延	課長補佐	則竹裕嗣
主事	松島史弥		安藤均	学芸業務専門職	橋本清文
会計・人事労務業務専門職	小野真紀	[自然係]		"	高屋嘉由
補助職員	沢智美	係長(動物)	説田健一	"	武藤由美
		課長補佐(植物)	土屋寿美	管理業務専門職	坪井宏美
		主任(地学)	熊澤忍	"	長田麻友子
		"(古生物)	高津翔平	"	加藤章
				"	福島江里菜
				"	倉橋美紀子
				"	鈴木奈おみ

#### (3) 異動(令和3年4月1日)

転出者(退職者)	館長	(川本敏)	転入者	館長	副島雅浩
	副館長兼総務部長	今瀬千秋		副館長兼総務部長	寺嶋祐三
	課長補佐兼係長	渡邊寛樹		課長補佐	林英和
	主査	金子好孝		"	則竹裕嗣
	主任	(小池明美)		主査	長野宜延
	主事	佐藤宏紀		主事	松島史弥

## 2 展示活動

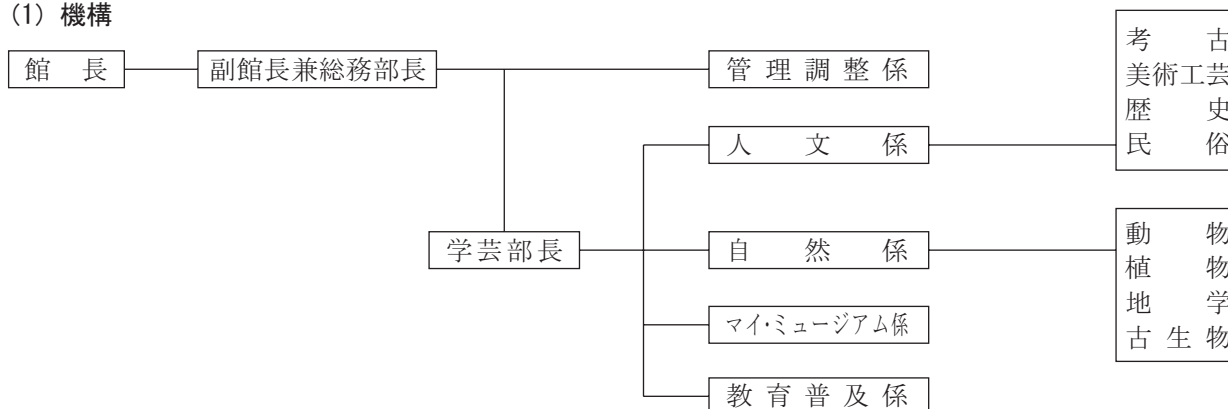
展 示 名	期 間	展 示 内 容
常設展	年 間	人文展示室では「郷土のあゆみ」を主題とし、先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示します。特別展示室または企画展示室では「郷土の民俗と美術工芸」を主題とし、特色ある郷土の民俗と美術工芸を部門別、時代別に展示します。自然展示室1では「郷土の自然と私たち」を主題とし、郷土の自然の概要を系統的に展示します。自然展示室2では「郷土のさまざまな自然」を主題とし、特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示します。
移動展 「名前のヒミツ教えます —植物に隠された物語— (会場：飛騨高山まちの博物館)	4/10 (土) ～6/6 (日)	名前にはその植物たる由縁の物語が存在します。岐阜県博物館には、岐阜県内を歩きまわり、すべてを網羅して集められた植物標本が12万点以上保管されています。標本は同定され、岐阜県の地名などをもとに名を付けられています。本展では、岐阜県で見つけることができる植物の名の秘密を紹介します。
博物館・岐阜大学連携企画展 「ぎふの鳥 ライチョウ —知って守ろう県の鳥—	4/24 (土) ～6/27 (日)	岐阜県は、地域によって気候や地形に大きな差があり、多種多様な生物が見られます。なかでも、御嶽、乗鞍山及び飛騨山脈に生息するニホンライチョウは県の鳥でもあり、岐阜県の豊かな自然を象徴する動物です。今回の連携企画展では、岐阜県博物館や岐阜大学が所蔵するライチョウに関わる資料を展示することで、岐阜県の豊かな自然の姿を紹介するとともに、ニホンライチョウの保護活動への関心を高める機会とします。
博物館・図書館連携企画展 「千磨百錬 よみがえる赤羽刀：後篇 (会場：岐阜県図書館)	4/24 (土) ～6/13 (日)	「赤羽刀」とは、GHQ に接收された後、国を介して全国の博物館に返還された日本刀をいいます。平成11年(1999)一般公開を条件に、3,209点が刀工の出身地等に立地する公立博物館等に譲与され、当館では168点を受領しました。これらの赤羽刀は劣悪な保管環境によって錆びつき、大半が展示できる状態ではないため、順次、研磨してハバキと白鞘をつくっています。本展では、作業が終了した48点について、一堂に公開します。
特別展 「薩摩の陶と刀」	7/23 (金・祝) ～9/26 (日)	江戸中期、薩摩藩によって実施された木曾三川の宝暦治水工事が契機となり、昭和46年に鹿児島県と岐阜県とのあいだで姉妹県盟約が結ばれました。以後、さまざまな交流事業がおこなわれるなか、令和3年には50周年を迎えます。このことを記念するため、岐阜の美術工芸として馴染みの深い「陶磁器」と「刀剣」に着目し、鹿児島の「薩摩焼」と「薩摩刀」に焦点を当てた展覧会を開催します。
特別展 「今日から防災！ —過去を知り、未来へ備えよう—	10/8 (金) ～12/12 (日)	岐阜県では、2014年の御嶽山噴火や1891年の濃尾震災など、県内の各地でいくつもの自然災害が発生しています。また、岐阜県内に活断層は10以上あり、地震をはじめ、自然災害はいつでもどこでも起こりうるものです。本特別展では、自然災害について、事例やその仕組みについて解説したり、歴史資料を展示したりするだけでなく、家庭でできる防災などについても紹介し、家庭での防災・減災に取り組む機会とします。
博物館・岐阜大学連携企画展 「恐竜の復元模型展」 (会場：岐阜大学図書館)	10/29 (金) ～12/24 (金)	古生物復元造形作家(パレオアーティスト)の徳川広和氏は、恐竜をはじめとする古生物の復元模型を多数製作しています。同氏の作品は博物館などの展示資料としてだけでなく、国内外の学術集会や研究発表にも活用されており、その専門性の高さがうかがえます。本展示では、同氏が製作した恐竜復元模型を中心に展示するとともに、復元模型の製作過程のパネル展示や岐阜県博物館が所蔵する化石標本をあわせて展示・紹介します。
企画展 「岐阜の縄文世界」	1/8 (土) ～3/13 (日)	縄文時代のイメージは、数多くの発掘調査成果から既存の見方に対して再評価が進み、1万年以上続いた縄文時代への関心が高まっています。それでは岐阜の縄文時代はどうだったのでしょうか。県内では2千を超す縄文時代の遺跡が知られ、各地の発掘調査によって、少しずつ当時の様子が明らかになっています。この企画展で、岐阜の縄文の一端を知っていただければと思います。
博物館・図書館連携企画展 「岐阜県歴史資料館との連携展示」 (会場：岐阜県図書館)	1月 ～3月頃	内容の詳細未定

展 示 名	期 間	展 示 内 容
マイミュージアムギャラリー 第1回展示 「西美濃の書画家展」	4/10（土） ～5/16（日）	出展者が西濃地方を中心に、岐阜県にゆかりのある書画家の作品を蒐集するようになり、今では、掛け軸、巻物、置物等が400点ほどになりました。今回は、その中から80点あまり展示します。中には資料的に貴重な作品もあり、多くの関連事実が判ります。
マイミュージアムギャラリー 第2回展示 「懐かしの ビン・コレクション 再び」	6/5（土） ～7/18（日）	平成22年にマイミュージアムギャラリー展示「懐かしのビン・コレクション」を開催しました。今回の展示では、前回から新たにコレクションに加わったビンやガラス製品を中心に約700点を展示し、ビンやガラス製品の魅力を紹介します。
マイミュージアムギャラリー 第3回展示 「プラモデル作品コレクション」	7/31（土） ～9/5（日）	岐阜コクピットは、岐阜市や各務原市を中心としたプラモデル好きが集まり、45年程前に結成されました。会員達が長年にわたり作り溜めた作品も、飛行機・船・車・アニメキャラクター等々数知れず。その一部を展示します。
マイミュージアムギャラリー 第4回展示 「みんな描けちゃう絵画教室作品展 絵手紙・水彩画・パステル画・油絵」	9/18（土） ～10/17（日）	絵手紙、水彩画、パステル画、油彩画、すべて素早く上手に描く方法は描き順をしっかりと教えてください。すべての物に描き順があります。初めて描いた人も自分の上手さにビックリです。みんな、なんでも描けちゃうんです。楽しく描いた皆さんの作品を展示します。
マイミュージアムギャラリー 第5回展示 「染織のいろ ー美濃友禅の世界ー」	10/30（土） ～12/5（日）	美濃友禅は、織物の歴史ある美濃の地において友禅技法に鮮やかな色彩を用いた独自の抽象表現を取り入れ立ち上げたものです。今回は美濃友禅による染色がもたらす様々な「いろ」をお届けします。染色する絹素材の違いによる発色や風合いの差も見て頂き、染色に用いる道具なども展示します。
マイミュージアムギャラリー 第6回展示 「収集30年の時 揖斐川石と 世界に誇る根尾川菊花石」	12/18（土） ～1/23（日）	出展者がこれまでに、菊花石1,000個以上を指定区域以外の河原で採石してきた中から、揖斐川石60個、菊花石120個を展示します。多種多様な個性をもっている揖斐川石と世界に誇る根尾川の菊花石を紹介します。
マイミュージアムギャラリー 第7回展示 「自分の可能性に向かって挑戦できる 学校 岐阜城北高校の“魅力”」	2/5（土） ～2/27（日）	岐阜城北高校の総合学科、生活デザイン科における成果物（衣装、布絵本、研究レポート、芸術作品など）をはじめ、部活動、学校行事などの写真等を展示し、学校の魅力を紹介します。

### III 令和2年度のあゆみ

#### 1 職員

##### (1) 機構



##### (2) 職員名簿

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長	川本 敏	【学芸部】			
副館長兼総務部長	今瀬 千秋	学芸部長	山田 昭彦	[マイミュージアム係]	
【総務部】		兼マイミュージアム係長		主査	金子 好孝
[管理調整係]		[人文係]		主事	加賀 隆志
課長補佐兼係長	大野 英悟	係長(考古)	近藤 大典	補助職員	益田 豊子
主査	酒井田 恭子	主査(美術)	立花 昭		
主任	小池 明美	主査(民俗)	南本 有紀	[教育普及係]	
主事	佐藤 宏紀	主任(歴史)	安藤 均	課長補佐兼係長	渡邊 寛樹
会計・人事労務業務専門職	小野 真紀			課長補佐	小島 剛太郎
補助職員	沢 智美	[自然係]		主査	澤村 雄一郎
		係長(動物)	説田 健一	学芸業務専門職	橋本 清文
		課長補佐(植物)	土屋 寿美	管理業務専門職	高屋 嘉子
		主任(地学)	熊澤 忍		武藤 由美
		主任(古生物)	高津 翔平		坪井 宏美
					長田 麻友子
					加藤 章
					福島 江里菜
					倉橋 美紀子
					鈴木 奈おみ

##### (3) 異動 (令和2年4月1日)

転出者	館長	(平井 克昭)	転入者	館長	川本 敏
(退職者)	課長補佐兼係長	長屋 幸二	館長補佐	小島 剛太郎	
	主査	松本 正樹	主査	土屋 寿美	
	課長補佐	可児 美紀	主任	澤村 雄一郎	
	主査	竹中 初男	主任	酒井田 恭子	
	主事	吉田 泰久	主事	安藤 均	
	学芸業務専門職	柴田 香	主事	熊澤 忍	
職員	職員	市村 祥	学芸業務専門職	加賀 隆志	
		(井上 好章)	補助職員	高屋 嘉文	
		(石田 邦子)		沢 智美	

(令和2年11月1日)

転出者 主査 澤村 雄一郎

## 2 岐阜県博物館協議会

岐阜県博物館協議会は、博物館法及び岐阜県博物館条例に基づいて設置されている機関で、岐阜県博物館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。委員は次のとおりである。

氏名	現職名
江原由佳	岐阜県PTA連合会母親委員
小川 鈺子	岐阜県博物館友の会副会長
亀谷 みゆき	朝日大学准教授
桐山 圭司	岐阜新聞社常務取締役
清水 博孝	公募委員
清水 優子	中部学院大学・中部学院大学短期大学部附属桐が丘幼稚園長
杉山 博文	岐阜女子大学理事長
鈴木 薫	NHK岐阜放送局長
須山 知香	岐阜大学教育学部准教授
早野 雅子	岐阜県小中学校校長会 大野町立中小学校長
◎古川 秀昭	前岐阜県美術館長
山田 伝夫	中日新聞岐阜支社長

◎会長 (令和2年12月18日現在 五十音別・敬称略)  
任期は令和2年9月24日から令和4年9月23日

(開催状況)

月 日 令和2年12月18日(金)  
場 所 岐阜県博物館 講堂

○次第

- (1) 岐阜県博物館の現状と実績について
- (2) 議題：郷土からさらに愛される博物館について
- (3) その他(報告事項)：令和3年度の特別展・企画展計画について

○主な提案・意見

- ・博物館の全県展開事業に関すること
- ・博物館職員の精力的な活動に関すること
- ・コロナ禍での対応と館の特徴に関すること
- ・文化財の伝承や環境保全保護等の指導や情報発信に関すること

## 3 日誌抄

- 4.1 人事異動に伴う辞令交付
- 4 新型コロナウイルス感染症感染拡大予防措置による休館(～5/18)
- 18 けんぱく教室「百年公園で春を見つけよう」※中止
- 19 学芸講座「満州移民と岐阜県」※中止
- 25 博物館・図書館連携企画展「オリンピックの歴史とデザイン」(～6/21)※中止
- 25 マーサ21「マーサワークショップ」※中止
- 26 博物館・図書館連携企画展講演会「1940/1964/2020 東京オリンピックのデザイン」※中止
- 29 学芸講座「岐阜県植物誌から浮かんだ岐阜県を特徴づける植物」※中止
- 5.3 けんぱく教室「笛をつくって遊ぼう」※中止
- 4 けんぱく教室「恐竜を造ろう」※中止
- 4 けんぱく教室「恐竜を組み立てよう」※中止
- 10 けんぱく教室「家族で昆虫標本をつくろう」※中止
- 19 再開館
- 19 企画展「ヒアリがやってくるー外来生物とはなにものかー」(～8/30)
- 19 ミニ企画展「打倒コロナ こいのぼり展示」(～8/23)
- 23 MMG展示「懐かしのビン・コレクション再び」※中止
- 23 スプリングフェスティバル けんぱくワークショップ 化石レプリカづくり ※中止
- 24 スプリングフェスティバル けんぱくワークショップ 化石レプリカづくり ※中止
- 31 学芸講座「ヒアリに刺された男が語る外来生物の本物の怖さ」※中止
- 6.2 MMG展示《たかす開拓記念館移動展》「未来を夢見た開拓ものがたりー満州から高鷲へー」(～6/28)
- 4 学芸員なう「スピノサウルスミニ特集！」(～9/19)
- 7 学芸講座「岐阜の見世物稼業 安田里美と安田興業社」※中止
- 9 ミニ企画コーナー「美しき鉱物の世界」(～10/31)
- 16 ミニ企画展「錦絵でみる光秀と戦国⑬」(～7/21)
- 19 移動展「飛騨と岐阜県植物誌」(～7/26)
- 7.8 大雨特別警報による臨時休館
- 11 MMG展示「生命のれきし 40 億年・木彫り恐竜骨格模型展」(～9/6)
- 19 特別展関連講演会「モンゴルと恐竜足跡化石ーアジア最大級の竜脚類足印の発見に至るまでー」※中止
- 21 マーゴ「マーゴキッズクラブ 岐阜県博物館体験ツアー」※中止
- 22 博物館実習(～7/26)
- 22 ミニ企画展「錦絵でみる光秀と戦国⑭」(～8/27)
- 28 教員のための博物館の日(～7/31)※中止
- 28 ミニ展示「教科書のオリンピック物語①」(～9/13)
- 8.1 移動博物館「夏休みけんぱく恐竜ミニ展示 in モレラ岐阜」(～8/30)
- 2 移動博物館「夏休みけんぱく恐竜ミニ展示 in カラフルタウン岐阜」(～8/17)
- 10 けんぱく教室「収蔵庫探検ー自然史標本の役割を知るー」
- 14 サマーナイトミュージアム
- 14 ミニ展示「新型コロナウイルスの話題(トピック)」(～11/15)
- 15 小屋名精霊送り「チンチカカ」の日限定 小屋名地区住民限定無料入館日
- 17 博物館・岐阜大学連携企画展「岐阜大学と岐阜県植物誌」(～10/7)
- 28 ミニ企画展「錦絵でみる光秀と戦国⑮」(～10/11)
- 30 けんぱく教室「御所浦島の化石レプリカを作ろう」※中止
- 9.6 学芸講座「岐阜様の物語ー今、明らかになる戦国を生きたお姫さまー」
- 15 ミニ展示「教科書のオリンピック物語②」(～11/1)
- 18 特別展「光秀が駆けぬけた戦国の岐阜」(～11/15)
- 19 MMG展示「増田孝コレクション 自筆書状の魅力前期 戦国武将の書状を中心に」(～10/18)
- 20 学芸員なう「ライチョウ会議って何だ？」(～11/28)
- 21 けんぱく教室「消しゴムはんこで花押をつくろう」
- 24 岐阜県歴史資料館連携企画展示「美濃武士のゆくえー戦国から江戸へー」(～11/8)
- 24 けんぱく・関市連携企画展示「考古学資料からみた関市の中世ー重竹遺跡を中心にー」(～11/8)
- 24 出前授業「関市立金竜小学校総合学習 川について知ろう」
- 25 中津川市立加子母小学校・阿木小学校オンライン社会見学
- 26 特別展関連講演会「戦国サバイバルー美濃出身の大名たちー」
- 10.3 三重県総合博物館交流企画「新発見！三重のほとけたちー慶流の姿を求めてー」
- 4 博物館・岐阜関ヶ原古戦場記念館関連企画「甲冑を学ぼう」※中止
- 4 山県市ふるさと栗まつり 2020 けんぱくワークショップ ※中止



10. 6 岐阜県知事視察  
 17 オータムフェスティバル けんぱくワークショップ  
 化石取り出し体験※中止  
 18 オータムフェスティバル けんぱくワークショップ  
 化石取り出し体験※中止  
 24 MMG展示「増田孝コレクション 自筆書状の魅力後  
 期 書状の優品選」(～11/23)  
 24 けんぱく教室 森林総合教育センター morinos 連携企  
 画「百年公園で秋を見つけよう」  
 30 岐阜県議会議長来館
11. 1 講演会「稲葉家からみた美濃の戦国」  
 1 ミニ展示「岐阜の秘密(植物編)」(～2/28)  
 3 岐阜～ふるさとを学ぶ日(無料開放日)  
 3 けんぱく教室「小笠原流弓の演示」  
 3 清流の国ぎふ文化の森秋祭り けんぱくワー  
 クショップ 化石レプリカづくり ※中止  
 4 博物館・岐阜大学連携企画展「ライチョウ展」(～12/1)  
 4 ミニ展示「教科書のオリムピック物語」③(～12/13)  
 6 岐阜県副知事視察  
 7 特別展開連講演会「古判手鑑と美濃の侍たち」  
 10 特別展「光秀が駆けぬけた戦国の岐阜」  
 来場者1万人突破  
 11 下呂市上原小学校 リモート授業  
 14 学芸講座「自筆書状の魅力」  
 17 ミニ企画展「おうちの中のやきもの」(～5/5 予定)  
 21 企画展「岐阜の縄文1800遺跡」(～1/24)  
 21 ぎふサイエンスフェスティバル 2020 けんぱくワー  
 クショップ 化石レプリカづくり ※中止  
 23 学芸講座「縄文時代の精神世界」※中止  
 27 ミニ企画展「初期万国博覧会と日本の輸出陶磁器」(～  
 4/11 予定)  
 27 ミニ企画展「縄文土器の“縄文”ってなに！」(～2/14)  
 29 けんぱく教室「まが玉をつくろう」  
 29 学芸員なう「清流長良川の鮎認定5周年記念パネル展」  
 (～12/25)
12. 3 出前講座「山県市富岡公民館 化石とり出し」  
 5 MMG展示「現代によみがえる着物と帯」(～1/24)  
 5 けんぱく教室「縄文ものづくり体験-粘土で縄文ア  
 ートを楽しもう」  
 6 マーサ 21「マーサキッズクラブ 岐阜県博物館体験  
 ツアー」※中止  
 12 特別企画展「みんなの恐竜学」(～2/28)
- 12 学芸講座「初期万国博覧会と日本の輸出陶磁器」  
 15 けんぱく教室「姫きもの製作体験」  
 19 クリスマスナイトミュージアム  
 20 けんぱく教室「収蔵庫探検-自然史標本の役割を知る-」  
 21 恐竜のすず払い  
 22 出前講座「揖斐川町大和小学校 化石レプリカづくり」  
 1. 7 博物館友の会企画「七草がゆを食べよう」※中止  
 7 けんぱく教室「ちょっと昔の正月遊び」※中止  
 7 学芸員なう「博物館サポーターの活動紹介(植物編)」  
 (～2/18)  
 11 けんぱく教室「恐竜を造ろう」  
 11 けんぱく教室「恐竜を組み立てよう」  
 17 学芸講座「地震後の食・トイレ・住まいを備える」  
 19 図書館連携企画展「千磨百鍊よみがえる赤羽刀前篇」  
 (～3/14)  
 23 けんぱく教室「恐竜を描こう-頭骨トレーシング-」  
 30 けんぱく教室「恐竜パズルをつくろう」  
 31 マーサ 21「マーサワークショップ」※中止  
 2.1 人文展示室 LED 照明工事(～2/26)  
 6 MMG展示「小笠原流弓と礼法」(～3/21)  
 9 荘川中学校 リモート授業  
 10 IAMAS 連携リモート講演会「テクテクテテ勉強会」  
 13 学芸講座「恐竜のタマゴのナゾを追え！」  
 16 ミニ企画展「戦国の美濃をめぐる」(～4/11 予定)  
 17 出前講座「揖斐川町立小島小学校 化石レプリカづくり」  
 19 学芸員なう「博物館サポーターの活動紹介(動物編)」  
 (～5月上旬予定)  
 20 特別展開連講演会「入門：最新恐竜学！」  
 20 MMG講座「小笠原流 礼法体験」  
 21 マーゴ「マーゴワークショップ」※中止  
 23 特別企画展「みんなの恐竜学」  
 来場者1万人突破  
 25 ミニ企画展「疾走する形・KATANA 競技用義足と日本  
 刀」(～5/5 予定)  
 27 博物館・図書館連携企画展講演会「赤羽刀はこう観  
 る 岐阜県博物館所蔵品から」※中止  
 3.1 ミニ企画コーナー「新収蔵資料紹介展」  
 (～5月上旬予定)  
 2「戦国無双5」博物館応援プロジェクト(～3/21)  
 7 けんぱく教室「収蔵庫探検-自然史標本の役割を知る-」  
 7 MMG 関連講演会「小笠原流弓と私」

## 4 実施事業の概要

「県民の皆様が岐阜県の自然や歴史・文化に親しみ、誇りをもつことができる博物館」を令和2年度の運営目標として、特別展、企画展、移動展、マイミュージアムギャラリー展示を開催した。特別展のテーマに関わるその道の研究者による講演会など各種講演会・講座、参加体験型の催し物、学芸員による出前授業や講師派遣など多くの事業を展開した。特に、特別展「光秀が駆けぬけた戦国の岐阜」特別企画展「みんなの恐竜学」を行い、全国各地から多くの方々に来館いただけた。

### (1) 展示活動

特別企画展、特別展など、P12の表のとおり実施した。

### (2) 調査研究活動

人文分野では、令和3年度の特別展・連携企画展に関連した県内外資料の調査を行った。自然分野では、県内外資料の調査に加え、百年公園の里山の動植物生態調査(モニタリング1000)、県内植物分布調査、令和3年度防災分野展示に向けた県内外の資料調査などを行った。

マイ・ミュージアムでは、ポケット学芸員など解説の充実に向けた条件整備やマイミュージアムギャラリー出展作品の調査研究や出展者の新規開拓を行った。

### (3) 資料収集活動

人文分野では、県内各地で資料の所在調査を実施した。自然分野では、県内外の動植物や古生物、岩石鉱物資料を資料として加えた。

### (4) 教育普及活動

平成28年度から続いている「教員のための博物館の日」を学校の夏季休業期間に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響による学校の休校措置のため夏季休業日が短くなり、本年度は中止とした。わくわく体験は原則毎月第2、第4日曜日と定期的な開催としていたが、6月までは臨時休館や催し物の自粛により停止していた。7月からは、会場がいわゆる三密にならないように留意しながら、定員制を導入して再開した。

団体等の利用では、利用を控える学校もある中で、来館する学校団体もあり、生活科・社会科・理科の学習プログラムの利用が多かった。「秋みつけ」などの学習プログラムの実施に博物館サポーターの支援を得て、充実した学びを提供した。

博物館サポーターの活動では、126名が登録し、活動内容にあわせて12の活動グループを設け、希望するグループに所属して活動を行った。

## 5 展示活動

展 示 名	期 間	展 示 内 容	入館者数
常設展	年 間	人文展示室では、先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示した。特別展示室または企画展示室においては、特色ある郷土の民俗と美術工芸を部門別、時代別に展示した。自然展示室1では、郷土の自然の概要を系統的に展示した。自然展示室2では、特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示した。	—
移動展 「飛騨と岐阜県植物誌」 (会場：飛騨高山まちの博物館)	6/19 (金) ～7/26 (日)	標高 3,000m を超える北アルプスの高山を有し、多雪地帯も分布している飛騨。そこに息づく多様で特異な植物の分布を記録したのが、およそ 20 年間の調査研究を要し 2019 年夏に発刊された「岐阜県植物誌」である。当展では、飛騨出身で植物研究を進めた長瀬秀雄氏、二村延夫氏らが作製した植物標本、調査資料、植物画を通して、豊かな自然に恵まれた飛騨と岐阜県植物誌の魅力を紹介した。	9,748
博物館・図書館連携企画展 「オリンピックの歴史とデザイン」 (会場：岐阜県図書館)	中 止	新型コロナウイルス感染症の影響により、東京オリンピックの開催延期が決定したことで、中止とした。	—
企画展 「ヒアリがやってくる —外来生物とはなにものか—」	5/19 (火) ～8/30 (日)	岐阜県は、地域によって気候や地形に大きな差があり、飛騨山脈に生息するライチョウや濃尾平野に特有な淡水魚など、多様な生物が見られる。その一方で、アライグマやオオキンケイギクなどの外来生物がふるさとの生物多様性に大きな影響を与えている。当展では、当館が所蔵する外来生物の標本を展示することで、岐阜県で見られる外来生物の現状を知り、ふるさとの豊かな自然が抱える問題を考えた。	7,616
博物館・岐阜大学連携企画展 「岐阜大学と岐阜県植物誌」 (会場：岐阜大学図書館)	8/17 (月) ～10/7 (水)	およそ 20 年の歳月を費やし、2019 年夏に「岐阜県植物誌」が発刊された。岐阜県植物誌は、県内に分布するシダ植物と種子植物をすべて網羅しており、種ごとの検索表、全種の分布図、代表的な植物の植物画及び調査に基づいた岐阜県の特徴的な植物の紹介があり、全国に誇るものである。本移動展では、岐阜大学に保管されている証拠標本を中心に、岐阜県植物誌が語る植物の魅力を紹介した。	5,792
特別展 「光秀が駆けぬけた戦国の岐阜」	9/18 (金) ～11/15 (日)	当館歴史分野の「天下統一と岐阜」シリーズ第4弾。中世から近世へと時代が大きく変化した戦国の世、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の三人の天下人や明智光秀に深く関わった美濃・飛騨ゆかりの武将や文化を紹介した。今回は戦国の世を生き抜いた稲葉家や森家を中心に、戦国の岐阜を彩った武将や文化を示す文書・甲冑・出土品などの文化財を展示した。美濃・飛騨の大地と人が中世から近世への時代の変化に果たした役割を探り、戦国の岐阜をあらためて見つめなおした。	11,473
企画展 「岐阜の縄文 1800 遺跡」	中 止	新型コロナウイルス感染症の影響により、他の特別展などの日程調整の関係で、今年度は中止とした。	—
特別企画展 「みんなの恐竜学」	12/12 (土) ～2/28 (日)	日本産の恐竜化石の新種発見・報告が続く今日、今や日本はアジア有数の恐竜産出国のひとつとなっている。岐阜県においても、1987 年のヒブシロフォドン類の歯の化石発見をきっかけに多数の恐竜の歯の化石や足跡化石が見つかっている。本特別企画展では、県内初公開のカマラサウルスの幼体の実物全身骨格や、国内初のタイ王国恐竜足跡化石産地のVR展示など、子供から大人まで幅広い世代が楽しめる恐竜展を開催した。	12,777
博物館・図書館連携企画展 「千磨百錬 よみがえる赤羽刀:前篇」 (会場：岐阜県図書館)	1/19 (火) ～3/14 (日)	「赤羽刀」とは、戦後、GHQ に接収された後、国を介して全国の博物館に返還された日本刀をいう。平成 11 (1999) 年、3,209 点が、刀工の出身地等に立地する公立博物館等に一般公開を条件に譲与され、当館では 168 点を受領した。これらの赤羽刀は劣悪な保管環境によって錆びつき、大半が展示できる状態ではないため、順次、研磨しており、令和元年度までに整備の終了した 48 点について、2 回に分けて公開した 1 回目である。	4,579
マイミュージアムギャラリー	(P20 参照)	「増田孝コレクション 自筆書状の魅力」をはじめ、5回の展示を実施した。	—

# 企画展 ヒアリがやってくる ―外来生物とはなにものか―

## 1 開催期間

令和2年5月19日（火）～8月30日（日）

## 2 主催、共催、後援

主催：岐阜県博物館

後援：岐阜県教育委員会

## 3 趣旨

岐阜県は、地域によって気候や地形に大きな差があり、飛騨山脈に生息するライチョウや濃尾平野に特有な淡水魚など、多様な生物が見られる。その一方で、アライグマなどの外来生物がふるさとの生物多様性に大きな影響を与えている。

今回の企画展では、当館が所蔵する外来生物の剥製等を中心に標本資料を展示することで、岐阜県で見られる外来種の現状を知り、ふるさとの豊かな自然が抱える問題を考える機会とした。

## 4 展示構成

### (1) 導入

ヒアリ、アカカミアリ

### (2) 外来生物とはなにものか

#### ① 国外外来種と国内外来種

② 外来生物とは言わないもの（渡り鳥、家畜、農産物）

#### ③ 身近な外来植物

### (3) 外来生物の何が問題なのか

#### ① 生態系への影響

- ・捕食（オオクチバス、フィリマンダース）
- ・競合（ミシシippアカミミガメ）
- ・交雑（ヤマメなどサケ科魚類、セイヨウタンポポ）
- ・寄生生物の持ち込み（リスザルなど）

#### ② 農林水産業などへの影響

- ・ハクビシン、クリハラリス、スクミリンゴガイ

#### ③ ヒトの生命・身体への影響

- ・カミツキガメ、セアカゴケグモ

### (4) どのように持ち込まれるのか

#### ① 意図的な持ち込み

- ・飼育生物（ハリネズミ、キョンなど）
- ・釣り対象魚（ニジマスなど）
- ・水産資源生物（ウシガエル、アフリカマイマイなど）
- ・緑化植物（ハリエンジュなど）
- ・天敵（ヤマヒタチオビ、カダヤシ）

#### ② 非意図的な持ち込み

- ・建築資材など（スインホーキノボリトカゲなど）
- ・竹製品（タイワンタケクマバチなど）
- ・水産物や農産物などに随伴（ビロヒガイなど）
- ・船舶への随伴（ムラサキガイ）

### (5) 外来生物をどのように防ぐのか

#### ① 予防

- ・法規制（外来生物法）
- ・水際での検査（名古屋植物防疫所所蔵資料）

#### ② 駆除

- ・オヤニラミ、オオキンケイギク

#### ③ わたしたちにできること

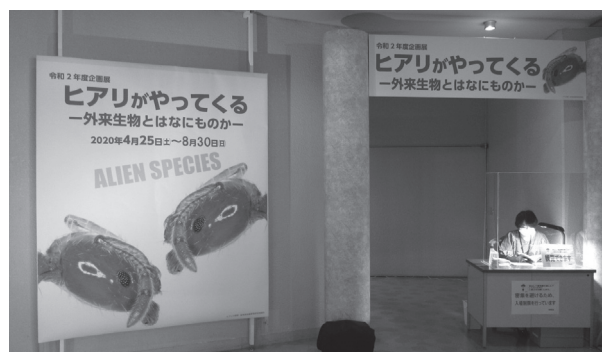
- ・アトラスオオカブト、ヒラタクワガタ

## 5 その他

コロナ禍のため、会期は、4月25日（土）から6月14日（日）であったが、大幅に変更した。また、学芸講座「ヒアリに刺された男が語る外来生物の本当の怖さ」【講師：岸本 年郎（ふじのくに地球環境史ミュージアム 教授）】が中止となった。



展示会場の様子1（カミツキガメ）



展示会場の様子2（入口で入場制限を行った）



## 特別展 光秀が駆けぬけた戦国の岐阜

### 1 開催期間

令和2年9月18日(金)～令和2年11月15日(日)

### 2 主催、共催

主催：岐阜県博物館 岐阜新聞社 岐阜放送  
後援：NHK岐阜放送局 岐阜県教育委員会

### 3 趣旨

美濃・飛騨の地は、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の三人が統一権力を形成していくなか、重要な役割を果たした。その美濃を舞台に戦国、安土・桃山時代を対象とした展覧会第4弾として、今回は森氏・稲葉氏をはじめとする美濃・飛騨ゆかりの武将たちに関わる文書や絵画、武具などの文化財を紹介し、織豊政権・徳川政権の形成にこの地が果たした役割を探った。

同時開催として、岐阜県歴史資料館企画展として「美濃武士のゆくえー戦国から江戸へー」を、また関市とはげんぱく・関市連携企画展示として、「考古学資料からみた関市の中世 一重竹遺跡を中心にー」を行った。

### 4 展示構成

#### (1) 戦国の岐阜ゆかりの武将

明智光秀が活躍した頃、戦国の美濃は大きな変化を迎えていた。斎藤道三が土岐氏を追放し、義龍・龍興へと引き継がれたものの、その後、織田信長が侵攻し美濃を手中に収めると、美濃は「天下布武」の拠点となった。

一方飛騨でも、姉小路氏や江馬氏などの勢力が割拠する中で、三木氏が統一を果たすなど激動の時代を迎えていた。

ここでは、戦国の動乱を概観する資料、信長・ついで秀吉に仕えて戦国の世を生き抜いた森氏・稲葉氏に関連する資料、動乱の中で生き残りを模索した遠山氏に関連する資料、飛騨の主導権を争った江馬・三木・金森氏の資料を展示した。

【主な展示資料】古判手鑑(林原美術館)、石谷家文書 第三巻(同)、国宝・太刀銘康次(光ミュージアム)、錆地塗革製二枚胴具足(赤穂大石神社)、大分県指定有形文化財・稲葉家文書(大分県立先哲史料館)、武田信玄書状(苗木遠山史料館)、岐阜県重要文化財・紙本墨書大般若経(寿楽寺)、岐阜県重要文化財・紙本著色三木自綱像(千光寺)など

#### (2) 戦国の文化と岐阜

戦国時代の岐阜には、現代にまで通じる古今伝授や茶陶といった文化が生まれ育った。

『古今和歌集』の本文・読み・注釈を伝える古今伝授は、郡上郡で勢力を持った東氏の11代・

常縁が集大成し、その後連歌師宗祇、さらに三条西家や細川幽齋へと伝わった。

美濃における茶陶生産は、瀬戸の陶工が美濃に入ったことに始まり、織田信長や妻木氏などの戦国武将たちの保護や、茶の湯の隆盛による需要の高まりを受けて、盛んに生産されるようになった。その中で黄瀬戸・瀬戸黒、次いで志野や織部などが開発された。

ここでは、東氏や古今伝授に係る歌集・系図などの資料や、茶陶が生産された大萱(現可児市)・元屋敷(現土岐市)の窯跡から出土した陶片・窯道具などを展示した。

【主な展示資料】東家二条家古今伝授之系図(郡上市教育委員会)、牟田洞古窯跡・大萱窯下古窯跡出土陶片(荒川豊蔵資料館・岐阜県立多治見工業高等学校)、国重要文化財・岐阜県元屋敷陶器窯跡出土品(土岐市美濃陶磁歴史館)

#### (3) 描かれた戦国の岐阜

錦絵とは18世紀後半に完成した多色刷りの版画で、武将を題材とした武者絵も人気を博した。戦国の要地である岐阜で起こった出来事や、信長や森蘭丸など岐阜ゆかりの武将にまつわる場面・エピソードも数多く描かれた。

ここでは、当館所蔵の錦絵を中心に展示し、江戸後期から明治期の人々が思いを馳せた戦国の岐阜の様相に迫った。

【主な展示資料】歌川芳虎 美濃の国合戦、歌川国芳 太平記英勇伝 登喜氏、楊斎延一・延重 真書太閤記 本能寺焼討之図(当館蔵)



展示会場の様子

### 5 関連事業

講演会1 9月26日(土)

「戦国サバイバルー美濃出身の大名たちー」  
講師：山田昭彦(当館)

講演会2 11月1日(日)

「稲葉家からみた美濃の戦国」  
講師：福田千鶴氏(九州大学)

講演会3 11月7日(土)

「古判手鑑と美濃の侍たち」  
講師：内池英樹氏(岡山県教育庁)

# 特別企画展 みんなの恐竜学

## 1 開催期間

令和2年12月12日(土)～令和3年2月28日(日)

## 2 主催、共催、協力

主催：岐阜県博物館／中日新聞社  
後援：NHK岐阜放送局／岐阜県教育委員会  
協力：(株) エアロフォトセンター／大野市教育委員会／岡山理科大学ーモンゴル科学アカデミー古生物学研究所共同調査隊／蒲郡市生命の海科学館／群馬県立自然史博物館／タイ王国鉱産資源局地質調査所 (DMR: Department of Mineral Resources of Thailand) ／三重県総合博物館・ミュージアムパーク茨城県自然博物館

## 3 趣旨

1978年に岩手県で見つかったモシリュウをきっかけに、今や日本はアジア有数の恐竜産出国の1つとなっている。岐阜県においても、1987年のヒブシロフォドン類の歯の発見をきっかけに、高山市荘川町から多数の恐竜の歯化石が見つかり、また大野郡白川村大白川地域では日本でも最大級の恐竜足跡化石露頭が見つかり、日本産の恐竜化石の新種発見・報告が続く今日、子供から大人まで幅広い世代に親しまれる「恐竜-Dinosaur-」は、メディアや教育を通して今やなくてはならない存在と言える。

今回の企画展では、総合科学と化した恐竜学について、基本的な知見から研究史、分類にいたるまで、「恐竜基礎学を学ぶ」ことを目的とした展示を行う。特に新たな試みとして、タイ王国で見ついている恐竜足跡化石産地のうち、最も有名な産地 Huai Dan chun (フアイ・ダン・クン) をVR展示として国内初公開する。またその研究成果をもとに作成した恐竜復元画(画：小田隆)もあわせて公開する。さらに岡山理科大学協力のもと、モンゴルの恐竜化石産地や恐竜足跡化石足跡産地のパネル展示も行う。加えて、現在岐阜県博物館が実施している県内の恐竜化石調査の最新報告や荘川産恐竜化石を一挙公開する。

## 4 展示構成

### プロローグ：地球と生命の歴史

恐竜誕生までの地球と生命の歴史を紹介した

【主な展示物】

アノマロカリスやウミサソリ、三葉虫など

### 第一章：“恐竜”を知る

恐竜基礎学や研究史について紹介した

【主な展示物】

メガロサウルスの下顎骨やイグアノドン類の歯、

K/Pg境界の岩石標本、恐竜卵化石など

### 第二章：様々な恐竜たち

恐竜を分類群ごとに紹介した

【主な展示物】

恐竜の復元画やカマラサウルスなどの全身骨格、ティラノサウルスなどの頭骨など

### 第三章：モンゴルの恐竜足跡化石産地

モンゴルの恐竜や足跡化石産地について紹介した

【主な展示物】

格闘恐竜の複製模型やプロトケラトプスの頭骨、恐竜足跡化石産地のパネル展示など

### 第四章：まだまだこれから！岐阜の恐竜化石調査最新報告

岐阜県産の恐竜化石や調査報告について紹介した

【主な展示物】

荘川産の恐竜歯化石や白川村大白川産の動物化石、岐阜周辺の恐竜化石など

### エピローグ：タイ王国の恐竜足跡化石と足跡化石産地のVR体験

タイ王国の恐竜足跡化石産地についてVRを通して紹介した

【主な展示物】

タイ王国産の恐竜足跡化石やタイ王国の恐竜足跡産地VR体験

## 5 関連事業

### プロローグ：地球と生命の歴史

講演会「恐竜タマゴのナゾを追え！」

／2月13日(土)

講師：田中康平(筑波大学／助教)

講演会「入門：最新恐竜学！」

／2月20日(土)

講師：真鍋 真(国立科学博物館)

けんぱく教室「恐竜を造ろう・描こう」

／1月11日(月・祝)

講師：徳川広和(パレオアーティスト)



展示会場の様子

(カマラサウルス幼体の実物全身骨格／群馬県立自然史博物館所蔵)



# 移動展 飛驒と岐阜県植物誌

## 1 開催期間

令和2年6月19日(金)～7月26日(日)

## 2 主催、共催、後援

主催：岐阜県博物館  
共催：高山市教育委員会  
後援：岐阜県教育委員会

## 3 趣旨

およそ20年の歳月を費やし、2019年夏に発刊された「岐阜県植物誌」は、県内に分布するシダ植物と種子植物をすべて網羅しており、種ごとの検索表、全種の分布図、代表的な植物の植物画及び調査に基づいた岐阜県の特徴的な植物の紹介があり、全国に誇ることのできる質の高い県植物誌である。この岐阜県植物誌では、北アルプスや白山などの標高3000mを超える高山を有し、西部を中心に多雪地帯が分布している飛驒の多様で特異な植物の分布を紹介している。

本移動展では、このような豊かな自然に恵まれた飛驒に分布する植物を中心に、飛驒地区出身で植物研究を進めた長瀬秀雄氏、二村延夫氏らが作成した植物標本、調査資料、自ら描いた植物画をとおして、岐阜県植物誌の魅力を紹介した。

## 4 展示構成

### 第1章 岐阜県植物誌とは

#### (1) 岐阜県植物誌のあゆみ

- ・採集調査チェックリスト、岐阜県植物誌調査会の会報

#### (2) 岐阜県植物誌を読み解く

- ・岐阜県植物誌



展示会場の様子1

### 第2章 飛驒と岐阜県植物誌

#### (1) 飛驒の自然(高山から低地へ移りゆくスミレたち)

- ・キバナノコマノツメ、ミヤマスマイレ、エゾノタチツボスミレ、フモトスマイレ、マルバスマイレ、ニョイスミレ

#### (2) 高山植物

- ・クロユリ、トウヤクリンドウ、クルマユリ、イワベンケイ、ミネウスユキソウ、コマクサ

#### (3) 日本海要素植物

- ・ユキツバキとヤブツバキの分布
- ・最深積雪量と植物(白川村と高山市の気象データ、御嶽山と白山の植生図、3m以上の最深積雪地帯のカライトソウ、2m以上の最深積雪地帯のスミレサイシン、ツルタチツボスミレ、カラスシキミ)

### 第3章 飛驒(岐阜)の興味深い植物

#### (1) 岐阜の地名が名につく植物

- ・キヨミトリカブト、ミノシライトソウとシライトソウ、トウノウネコノメ

#### (2) 菌従属栄養植物

- ・ギンリョウソウ、ツチアケビ、サクライソウ

#### (3) 飛驒の山菜(レプリカ展示)

- ・ゼンマイ、コシアブラ、タカノツメ、ナルコユリ、ノビル、ソバナ、タラノメ、ナンテンハギ、ハリギリ、ハンゴンソウ、ハナイカダ、ワラビ、モミジガサ、ミヤマイラクサ、ヤブカンゾウ、ヤマブキショウマ、ヤマドリゼンマイ、フキ、クサソテツ

### 第4章 岐阜県植物誌を支えた飛驒人

#### (1) 長瀬秀雄氏の功績

- ・長瀬氏写真、長瀬氏の投稿論文(岐阜県植物研究会会誌)、ヒダキセルアザミ調査資料、飛驒植物研究会報、直筆の手紙、長瀬氏撮影写真

#### (2) 二村延夫氏の功績

- ・二村氏写真、植物採取リスト、直筆の手紙、植物写真と線画

#### (3) 飛驒の植物誌

- ・高山市の植物(S62、高山市、長瀬秀雄氏執筆)、飛驒の植物(S51、国府町)、ふるさと植物誌(1989、清見村)、写真で見る久々野の野生植物(1993、久々野町) 明宝の植物(2002、明宝村)



展示会場の様子2

# 連携企画展 岐阜大学と岐阜県植物誌

## 1 開催期間

令和2年8月17日（月）～10月7日（水）

## 2 主催、共催

主催：岐阜県博物館

共催：岐阜大学

## 3 趣旨

およそ20年の歳月を費やし、2019年夏に「岐阜県植物誌」が発刊された。岐阜県植物誌は、県内に分布するシダ植物と種子植物をすべて網羅しており、種ごとの検索表、全種の分布図、代表的な植物の植物画及び調査に基づいた岐阜県の特徴的な植物の紹介があり、全国に誇ることのできる質の高い県植物誌である。

岐阜県植物誌は、岐阜大学名誉教授高橋弘氏が会長であった岐阜県植物誌調査会が調査研究を進めまとめられたものである。また、植物誌の分布情報の多くは、岐阜県博物館の収蔵庫と岐阜大学教育学部郷土博物館植物標本庫に証拠標本として保管されているものから得られている。

本移動展では、岐阜大学に保管されている証拠標本を中心に、岐阜県植物誌が語る植物の魅力を紹介した。

## 4 展示構成

### 第1章 岐阜県植物誌とは

#### (1) 岐阜県植物誌のあゆみ

- ・岐阜県植物誌を読み解く（岐阜県高等植物チェックリスト、岐阜県植物誌、調査会会報「サクライソウ」）



展示会場の様子1

#### (2) 岐阜県植物誌と岐阜大学

##### (ア) 植物誌を支えた研究者

- ・高橋弘（岐阜大学名誉教授）、須山知香（岐阜大学准教授）
- ・野外調査道具、標本作製道具

(イ) 岐阜大学学術アーカイブ・サテライト教育学部附属郷土博物館植物標本庫

- ・標本庫内写真、リーフレット、標本庫前室の役割

## 第2章 岐阜県植物誌からみた岐阜

### (1) 温量指数で計算した岐阜県の気候帯分布

#### (2) 高山植物

(ア) 3000 m級の高山を有する岐阜県

- ・白山、御嶽山の植生図

(イ) 岐阜県に分布する高山植物

- ・標本写真、線画（クルマユリ、クロユリ、チングルマ、トウヤクリンドウ）

#### (3) 太平洋要素植物

(ア) 太平洋要素植物とは

(イ) 岐阜県に分布する太平洋要素植物

- ・標本、写真、線画（ナガバノスミレサイシン、カキノハグサ、テバコモミジガサ、アカヤシオ）

#### (4) 岐阜県に分布する日本海要素植物

(ア) 日本海要素植物とは

(イ) 岐阜県に分布する日本海要素植物・標本、写真、線画（キヌガサソウ、スミレサイシン）

#### (5) 岐阜県に分布する東海丘陵要素の植物

(ア) 東海丘陵要素の植物とは

(イ) 岐阜県に分布する東海丘陵要素の植物

- ・標本、線画（シデコブシ、シラタマホシクサ、ヘビノボラズ）

#### (6) 岐阜の地名が名につく植物

- ・標本、写真、線画（ミノシライトソウ、ヒダキセルアザミ、ミノコバイモ、ヒダボタン）

#### (7) 西限分布と東限分布の植物

- ・西限分布の植物（ヤワタソウ、ヤマクワガタ）
- ・東限分布の植物（ミヤコアオイ、イブキトリカブト）

#### (8) 岐阜で見られる貴重な植物

- ・標本、線画、レプリカ（トウノウネコノメ、キバナハナネコノメ、シロバナネコノメソウ、ハナネコノメ）



展示会場の様子2

# 岐阜大学・博物館連携企画展 ライチョウ展

## 1 開催期間

令和2年11月4日(水)～12月1日(火)

## 2 主催、共催、協力

主催：岐阜大学学術アーカイブズ

共催：岐阜県博物館

協力：岐阜大学応用生物科学部

「博物館実習(学内実習)」2020年度受講生

## 3 趣旨

岐阜県は、標高3,000メートルを超える飛騨山脈から木曾三川が流入する濃尾平野まで、地域によって気候や地形に大きな差があり、多種多様な生物が見られる。なかでも、御嶽及び飛騨山脈に生息するニホンライチョウは県の鳥でもあり、岐阜県の豊かな自然を象徴する動物のひとつである。

本企画展では、第19回ライチョウ会議岐阜県大会の開催を記念し、岐阜県博物館と岐阜大学が所蔵するライチョウに関わる資料を展示することで、岐阜県の豊かな自然の姿を紹介するとともに、ニホンライチョウの保護活動への関心を高める機会とした。

## 4 展示構成

### (1) 世界のライチョウ

ライチョウのなかまはキジ科に属し、9属19種がユーラシア大陸北部と北アメリカ北部に分布する。ここでは、当館が所蔵する世界のライチョウの剥製を紹介した。

#### 【主な展示物】

ヨーロッパライチョウ、クロライチョウ、エゾライチョウなど

### (2) ニホンライチョウ

ライチョウは本州の一部の山岳の高山帯に生息している。ここ展示会場の様子(世界のライチョウ)では、ライチョウの巣卵、ライチョウが餌とする高山植物を紹介した。

#### 【主な展示物】

ニホンライチョウ(剥製、骨格、雛、巣卵)、餌となる高山植物の乾燥標本

### (3) 高山帯で見られる動物

低温で積雪が多いなど、厳しい環境に生息する高山帯の動物を紹介した。

#### 【主な展示物】

ミヤマモンキチョウ、イワヒバリなど

### (4) 新たな脅威

近年、高山帯に侵入し、ニホンライチョウの脅威となっている哺乳類や鳥類を紹介した。

#### 【主な展示物】

キツネ、テン、チョウゲンボウ、イノシシなど

### (5) 戦前の学校教育とライチョウ

戦前の学校教育で、教材として活用されたライチョウについて、当時の剥製、教科書、標本目録等で紹介した。

#### 【主な展示物】

高等学校や大学が所蔵していたライチョウの剥製

### (6) 雷鳥をテーマとしたアート

ライチョウをテーマとしたアート作品を紹介した。

#### 【主な展示物】

木版画(務川めぐみ)、粘土細工(寺田容子)、根付(守重)

### (7) ニホンライチョウの写真展

中村浩志(一般財団法人中村浩志国際鳥類研究所/信州大学名誉教授)さんが撮影したライチョウの写真を紹介した。



展示会場の様子(世界のライチョウ)



展示会場の様子(教材として活用されたライチョウ)



# 博物館・図書館連携企画展 「千磨百錬 よみがえる赤羽刀：前篇」

## 1 開催期間

令和3年1月19日（火）～3月14日（日）

## 2 主催、共催

主催：岐阜県博物館、岐阜県図書館

## 3 趣旨

「赤羽刀」とは、第二次世界大戦後、連合国軍最高司令官総司令部（GHQ）によって武装解除の一環として接收された刀剣のうち、元所有者不明のため公共博物館等に無償譲与された日本刀をいう。名称は、東京赤羽にあったアメリカ軍第八軍兵器補給廠に保管されていたことになむ。

岐阜県博物館は、平成11年（1999）に譲渡された全3,209点のうち168点を受領し、錆びつき、外装を失ったこれらの赤羽刀を、順次、研磨、外装（ハバキ、白鞘）制作等を行っており、令和元年度までに48点の整備が終了した。

本展は、これら全48点を2回に分けて展示するものである（後篇は令和3年度開催予定）。初めて一堂に公開する岐阜県博物館蔵赤羽刀コレクションによって、多様多彩な美濃・尾張刀の世界を紹介する。

## 4 展示構成

### (1) 赤羽刀について解説

パネル：赤羽刀についての解説、赤羽刀の整備事業の概要説明

実物展示（未研磨の赤羽刀）：

刀 銘 相模大掾藤原泰幸／寛永拾一年十月吉日

短刀 銘 兼生

※整備は、接收刀剣活用検討懇談会（平成11年）により刀工の知名度や作柄によって優先順位をつけて実施。

※前項に加えて有識者の意見聴取によって対象を決定。

※当館蔵赤羽刀は関鍛冶を中心とする美濃刀工のほか、関鍛冶が移住・分派した尾張刀工を主としている。

### (2) 刀剣展示

全48点のうち、以下の24点を展示。

刀 無銘 直江志津

小太刀 銘 濃州関住人兼定／享徳三年二月日

太刀 無銘

脇指 銘 兼舎

太刀 銘 兼宗

刀 銘 兼元

脇指 銘 兼時作

薙刀 銘 尾州住兼氏

刀 銘 濃州関住兼辰作／天正七年己卯八月吉日

槍 銘 相模守藤原政常

脇指 銘 飛騨守氏房

刀 銘 濃州清水住寿命

脇指 銘 飛騨守藤原氏房／

慶長拾年八月吉日

脇指 銘 出羽大掾藤原国路

刀 銘 能登守藤原泰幸／寛永十四年二月日

脇指 銘 秦光代

刀 銘 尾州住藤原信屋

刀 銘 和泉守藤原信屋

刀 銘 近江守藤原継広／越前住下坂

刀 銘 大和守源康道

脇指 銘 伯耆守信高入道／寛文六年八月吉日

刀 銘 豊後守源正全

刀 銘 相模守藤原盛永／延宝七年五月五日

脇指 銘 尾張国宝翁亭原正国

於江府作／文久二壬戌仲春

## 5 関連事業

関連催事については下記を予定していたが、新型コロナウイルス感染状況により中止となった。

### (1) 展示解説

講師：紙谷治宏（刀剣研究連合会会長）

日時：令和3年2月23日（火・祝）13:30～15:00

会場：岐阜県図書館 2階 多目的小ホール

定員：30名（先着順）※要事前申込

受付：県図書館

### (2) 講演会

「赤羽刀はこう観る 岐阜県博物館所蔵品から」

講師：紙谷治宏（刀剣研究連合会会長）

日時：令和3年2月27日（土）13:30～15:00

会場：岐阜県博物館

マイ・ミュージアム棟3階けんぱくホール

定員：65名（先着順）※要事前申込

受付：県博物館

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止



展示会場の様子

# マイミュージアムギャラリー

## 1 展示内容

	展 示 会	展 示 内 容	
1	<p>《たかす開拓記念館移動展》                      未来を夢見た 開拓ものがたり                      -満州から高鷲へ-                      出展者 たかす開拓記念館                      令和2年6月2日(火)                      ~6月28日(日)                      来場者数: 1,590人</p>	<p>高鷲をはじめ郡上地域では、明治から戦前、戦中にかけて、多くの人々が北海道や満州へ開拓民として送り出された。戦後、満州から引き揚げた人々によって高鷲地域も開拓された。たかす開拓記念館は、こうした苦難を乗り越え豊かな郷土を築いてきた先人の「拓く力」をテーマとして、開拓のあゆみを紹介している。今回は、記念館が所蔵する民具やジオラマなど約50点を展示するとともに、開拓者の証言映像や当時の写真を通して開拓のあゆみを紹介した。</p>	
2	<p>懐かしのビン・コレクション再び                      出展者 山田 正利</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。</p>	
3	<p>生命のれきし40億年・                      木彫り恐竜骨格模型展                      出展者 渡辺 基文                      田淵 良二                      令和2年7月11日(土)                      ~9月6日(日)                      来場者数: 5,027人</p>	<p>渡辺氏が9歳の頃に遊びとして化石採集をはじめ、それ以来64年にわたって5,000点以上のコレクションを収集してきた。今の中から約250点の化石を展示した。生命のはじまりから生命を40億年支えてきた生物の歴史を紹介した。田淵良二氏の木彫り恐竜の骨格模型は、その精巧さから高い評価を受け、全国各地で展覧会が開催されている。今回は、これまでに制作した恐竜をはじめとする骨格模型約30点を展示した。</p>	
4	<p>増田孝コレクション                      自筆書状の魅力                      出展者 増田 孝                      前期: 戦国武将の書状を中心に                      令和2年9月19日(土)                      ~10月18日(日)                      後期: 書状の名品選                      令和2年10月24日(土)                      ~11月23日(日)                      観覧者合計: 7,810人</p>	<p>古筆研究の第一人者である増田孝氏が関ヶ原古戦場記念館の開館と、当館開催の特別展「光秀が駆けぬけた戦国の岐阜」にあわせて、古筆を研究する中で収集した自筆書状約60点を展示した。前期は戦国武将の書状を中心に、後期は能書として知られる天皇や茶人、女性などの書状の展示を通して、増田さんがそれぞれの書状を収集した思いや書状から読み解くことができる人物像、そして自筆書状の魅力を紹介した。</p>	
5	<p>現代によみがえる着物と帯                      出展者 古裂美術工房                      令和2年12月5日(土)                      ~令和3年1月24日(日)                      来場者数: 3,190人</p>	<p>古裂美術工房は、貴重な着物や帯の収集・保存・展示を行うとともに、そのデザイン・縫製技術を研究し、「姫きもの」というミニチュアの芸術作品として現代に甦らせている。また、代表の吉野孝子氏は2018年世界最大の帯コレクションとしてギネス認定された。今回は、吉野さんが収集した帯や、岐阜市在住の会員が制作した「姫きもの」などの作品を展示に加え、諸事情により手放された雛人形を再生した「福よせ雛」も展示した。</p>	
6	<p>小笠原流 弓と礼法                      出展者 弓馬術礼法小笠原流                      岐阜県同門会                      令和3年2月6日(土)                      ~3月21日(日)                      来場者数: 4,357人</p>	<p>小笠原流は鎌倉時代より続く武家礼法、弓術、弓馬術の流儀。現在は31世宗家小笠原清忠氏の指導により、全国約800名の門下生が修練している。今回の展示では、普段は時代劇的一幕でしか見ることのない、武将たちが重んじていた立ち居振る舞いや人生の通過儀礼、武を示すとともに様々な祈りを表すための弓馬の技や作法を、様々な道具や写真を交えながら紹介した。</p>	



## 2 出展者による催し物等の開催

観覧者と出展者、あるいは観覧者同士の情報交流やふれあいの場として、また体験を通して展示内容についての理解を深めてもらうために、展示期間中には出展者が講師となった催し物を開催した。

### (1) 第1回展示「たかす開拓記念館移動展」

- ・講演会「満州移民と岐阜県」  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

### (2) 第6回展示「小笠原流 弓と礼法」

- ・けんぱく教室「小笠原流 弓の演示」  
日時：令和2年11月3日（日・祝）  
11：30～ 13：30～  
講師：兼松邦夫  
（弓馬術礼法小笠原流岐阜県同門会会長）  
会場：ピロティ



### (3) 第4回展示「増田孝コレクション 自筆書状の魅力」

- ・講演会「自筆書状の魅力」  
日時：令和2年11月14日（土）13：30～15：00  
講師：増田 孝（愛知東邦大学客員教授）  
会場：けんぱくホール

### (4) 第5回展示「現代によみがえる着物と帯」

- ・けんぱく教室「ミニチュア着物をつくろう」  
日時：令和2年12月15日（火）  
10：30～12：00 13：30～15：00  
講師：吉野孝子（古裂美術工房会長）

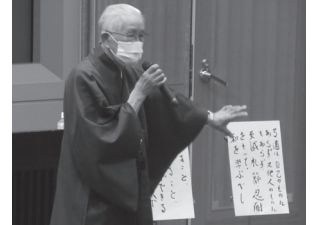
### (5) 第6回展示「小笠原流 弓と礼法」

- ・けんぱく教室「小笠原流 礼法体験」  
日時：令和3年2月20日（土）  
13：30～15：00  
講師：九里孝義（弓馬術礼法講師）



### (6) 第6回展示「小笠原流 弓と礼法」

- ・講演会「小笠原流と弓と私」  
日時：令和3年3月7日（日）  
13：30～15：00  
講師：兼松邦夫  
（弓馬術礼法小笠原流岐阜県同門会会長）



## 6 調査研究活動

### 〔調査研究〕

#### (1) 人文部門

##### ①考古

###### ア 展示に係る調査研究

令和3年度企画展「岐阜の縄文世界」及び令和4年度特別展（考古分野・予定）の開催に向け、調査研究を行った。

本年度企画展「岐阜の縄文 1800 遺跡」は中止、令和3年度への延期となった。そのため、展示内容の精査を行った。また中止とはなかったが、開催するはずだった期間にあわせ、ミニ企画展「縄文土器の“縄文”ってなに！」を企画し、それに関する資料調査等を行った。

令和4年度特別展に向けては、発掘調査報告書の精査等を行い、展示テーマ及び構成の検討を行った。

##### ②歴史分野

###### ア 特別展等にかかわる調査研究

特別展「光秀が駆けぬけた戦国の岐阜」に向けて、調査研究を行い、その成果を図録や展示パネルなどによって示した。

翌年度以降の展示に向けて関連資料の調査を行い、今後の調査研究及び展示の方向性を検討した。

###### イ 常設展にかかわる調査研究

前年度に引き続き、人文展示室内にコーナーを設け、ミニ企画展「錦絵でみる光秀と戦国」を行った。当館所蔵の錦絵を展示し、江戸後期から明治時代の人々が抱いた戦国時代や武将へのイメージを示した。また、企画展示室ではミニ企画展「美濃の戦国をめぐる」を行い、土岐氏の時代から関ヶ原合戦に至るまでの美濃の様相を、当館所蔵資料を中心とした展示やパネルなどによって示した。

##### ③民俗分野

###### ア 特別展等にかかわる調査研究

博物館業界における刀剣ブームは2015年以来、未だ継続中で、当館では2018年以降、毎年刀剣展示を開催している。今年度は県図書館連携企画展で刀剣を取り上げた。

(1) 博物館・図書館連携企画展「千磨百錬 よみがえる 赤羽刀：前篇」(2021/1/19-3/14)

当館所蔵の赤羽刀 168 点のうち令和元年度までに整備（研磨と外装の製作）が終了した 48 点につき、2 回に分けて県図書館で公開する。これに合わせて、刀剣研究連合会（東京都）による悉皆調査を実施し、調書の作成、押形の作成（全身 5 点、その他は茎）を行い、24 点については撮影も行った。

なお、引き続き「後篇」を開催予定である。

(2) 令和3年度特別展「薩摩の陶と刀」の準備

鹿児島県歴史・美術センター黎明館（鹿児島市）で出品候補作の熟覧を実施した。同館以外からも出品交

渉を行う等、調査を進めている。

###### イ 常設展示にかかわる調査研究

(1) 収蔵品展示（特別展示室）等

新型コロナウイルス感染症のパンデミックによる臨時休館後の再開はじめの所蔵品展示として、病魔退散・復興を祈念して、鯉のぼりと郡上本染めを展示した。立身出世伝説「登竜門」にちなむ鯉のぼりは子どもの健やかな成長を祈り、守り神・鍾馗像と併せて飾られる縁起物であるが、逆風でこそ力強く泳ぐ姿から近年、災害復興等のシンボルとされている。

また、昭和の居間ジオラマにつき季節ごとの展示替えを行うとともに、以下の通り各コーナーでミニ企画展示を実施した。

(2) 昭和の居間コーナー

「教科書のオリンピック物語」（協力：岐阜県総合教育センター）

令和2年 7月25日（土）～12月13日（日）

第1期：7月25日（土）～9月13日（日）

第2期：9月15日（火）～11月1日（日）

第3期：11月3日（火祝）～12月13日（日）

「やきものいろいろ」（個人蔵）

令和2年11月17日（火）～令和3年4月予定

(3) 人文展示室前ロビー

「新型コロナウイルスの話題（トピックス）」（協力：岐阜県図書館他）

令和2年8月14日（金）～11月15日（日）

「やきものいろいろ」

令和2年11月17日（火）～令和3年2月25日（木）

「疾走する形・KATANA 競技用義足と日本刀」

（協力：今仙技術研究所）

令和3年2月26日（金）～5月5日（水・祝）予定

(4) その他

刀剣を安全に鑑賞できるよう、専用のケースを制作した。

###### ウ 旧徳山村民家（旧宮川家住宅）整備

国登録有形文化財（建造物）・旧宮川家住宅主屋について、国庫補助を活用し、令和元年度より整備事業を実施している。今年度は、昨年度に引き続き、旧宮川家住宅主屋保存活用検討委員会を開催して保存活用計画を策定・刊行し、関係各所に配付した。

次年度は修理工事の設計を実施、次々年度以降、着工予定である。

なお、敷地・屋内の立入りを禁止したことから、とくに茅葺屋根の衰耗が激しく、サポーターによる囲炉裏火入れなどを実施したが、雨漏りが頻発して建材にまで損傷が拡大してきたため、葺き替えまでの代替措置として屋根全面のシート養生を実施した。

##### ④美術工芸分野

###### ア 特別展等にかかわる調査研究

令和3年度特別展「薩摩の陶と刀」の準備のため、鹿児島県歴史・美術センター黎明館（鹿児島市）で出品候補作の熟覧を実施。出品手続きを行う。

## イ 常設展にかかわる調査研究

収蔵資料や地域の文化財については常に継続して調査をおこなっている。その成果を披露する場の一つとして常設展がある。収蔵資料の魅力を一層引き出すべく、全国的な位置づけや、従来とは異なる視点によって以下のとおり実施した。

- ・初期万国博覧会と日本の輸出陶磁器

## (2) 自然部門

### ①動物分野

#### ア 主な研究テーマ

- (ア) 里地里山に生息する動物の生態について
- (イ) 戦前の鳥獣採集家及び博物学標本商について

#### イ 原著論文等

説田健一，2020，明治時代に神官が守った白山のライチョウ，楠田哲士編著，神の鳥ライチョウの生態と保全 日本の宝を未来へつなぐ，緑書房，東京，68-69。

説田健一，2020，学校理科室の標本（岐阜県博物館），楠田哲士編著，神の鳥ライチョウの生態と保全 日本の宝を未来へつなぐ，緑書房，東京，259-262。

説田健一，2021，コレクション 柳原鳥類コレクション．博物館研究 56(2)：39。

説田健一．2021．岐阜県関市で見つかったヒナコウモリ *Vespertilio sinensis* について．岐阜県博物館調査研究報告 41:17-18。

#### ウ 学会発表など

説田健一，2021，学校と一般家庭が所蔵する剥製標本の活用について，全日本博物館学会第46回研究大会，Web開催，2021/1。

#### エ 館内サークル活動の企画及び運営

ダチョウ組（動物標本作製サークル）、岐阜の魚研究会、クモ研究会、モニタリングサイト1000里地調査グループ、昆虫標本整理グループの運営

#### オ 他団体との調査活動

- (ア) ウシモツゴを守る会（ウシモツゴの生息と保護にかかわる調査。岐阜県水産研究所、世界淡水魚園すいぞくかん アクア・トトぎふ、関市、美濃市、NPO法人ふるさと自然再生研究会と共同）

### ②植物分野

#### ア 主な研究テーマ

- (ア) 里地里山に生育する植物の生態について
- (イ) 岐阜県博物館と連携した教師教育プログラムの開発
- (ウ) 所蔵標本データの活用方法の開発

#### イ 原著論文等

土屋寿美．2021．令和2年7月豪雨で被災した押し葉標本のレスキュー活動．岐阜県博物館調査研究報告 41:19-23。

#### ウ 館内サークル活動の企画及び運営

- (ア) モニタリングサイト1000里地調査

- (イ) 標本整理及び展示資料作成

- (ウ) タンポポ調査西日本2020に関わる調査活動及び結果分析

#### エ 他団体との調査活動

- (ア) 岐阜県植物誌調査会（県植物誌編纂関係調査、環境省レッドデータ調査）
- (イ) 岐阜県植物研究会（岐阜県内の植物の調査）
- (ウ) 岐阜県教育委員会（教師のための研修講座実施（博物館活用講座、幼稚園等新規採用教員研修））
- (エ) 岐阜大学（標本合同調査保管、展示資料開発、連携企画展の実施）

### ③地学分野

#### ア 主な研究テーマ

- (ア) タイ国産恐竜足跡化石の足跡学的研究
- (イ) 福島県産恐竜足跡化石の足跡学的研究
- (ウ) 岐阜県における手取層群の脊椎動物化石調査
- (エ) 瑞浪層群の化石調査
- (オ) 長野県における来馬層群化石調査

#### イ 原著論文等

#### ウ 館内サークル活動の企画及び運営

- (ア) 百年公園内に埋設された手取層群化石含有層の岩石の調査（ジオグループ）
- (イ) 県内外産化石クリーニング作業（ジオグループ）
- (ウ) 県内の化石産地における化石採集

#### エ 他団体との調査活動

- (ア) 筑波大学との共同研究
- (イ) タイ国産資源局地質調査所（DMR: Department of Mineral Resources of Thailand）との共同研究
- (ウ) 福井県立恐竜博物館との共同調査

## (3) マイ・ミュージアム部門

マイ・ミュージアム部門では、マイミュージアムギャラリー展示に係る業務とマイ・ミュージアム業務から構成されている。

マイミュージアムギャラリー展示に係る事業は、マイ・ミュージアム棟2階の展示室にて「岐阜県に在住、在勤及びゆかりのある個人又は団体（法人等）」が長年にわたって、調査・研究・収集されている貴重なコレクションを、広く展示公開する業務である。

また、マイ・ミュージアム業務は、当館収蔵資料のデータベース構築に係る業務として収蔵品をはじめ有形・無形の文化資源等をデジタル化して保存等を行う業務（デジタルアーカイブ）及び、インターネット公開に係る業務、並びにけんぱくホール活性化事業で構成されている。

### ①マイミュージアムギャラリーについて

#### ア 運営の概要

生涯学習時代、県民が個人的に調査、収集、研究した資料のコレクションや生涯学習の成果や作品には、大変すばらしいものが多数存在する。こうした



背景から、県民独自のコレクションや生涯学習の発表の場として、マイミュージアムギャラリーが開設された。ここでは、県民相互が多様な文化情報の発信・授受を行うなどの多目的な活用も図られている。博物館では一定期間、展示を公開する場の提供と側面支援を行うことで各展示前に定める目標の達成を目指している。

次年度の展示計画は、出展申し込みのあった展示内容をもとに、マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の意見を参考にして決定される。なお、出展者の募集や出展調査は常時行っている。

#### イ マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の開催

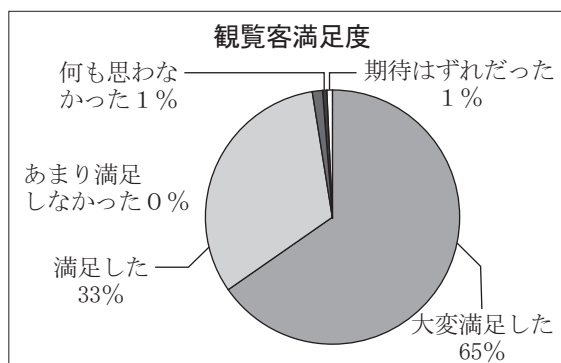
- ・日時 令和2年11月13日(金) 10:00～11:30
- ・場所 マイ・ミュージアム棟3階 けんぱくホール

#### ウ 展示記録「マイ・コレクション」(展示紹介チラシ)の発行

展示紹介チラシ「マイ・コレクション」を各回の展示ごとに発行した。これを展示会場内で観覧者に配布するとともに、出展者が自主的に行う広報活動の資料として活用した。令和2年度は平成7年度からの通番で、第185号から第189号までを発行した。

#### エ 観覧者、出展者への意識調査の実施と分析

観覧者にマイミュージアムギャラリー展示の満足度調査を行った。展示会終了後には、出展者にも満足度調査を行っている。調査結果については、分析と考察を行い、展示等の改善につなげている。



【図1 観覧者の満足度(令和2年度4月～3月)】

また、図1に示すように観覧者の満足度は高く、展示内容とともに効果的な展示を行えたものと考えている。また、マイミュージアムギャラリーの良さを問う項目では「観覧が無料であること」、「いろいろな作品が見られ、出展者との交流することにより趣味が深められた」に高い満足度を認めることができ、県民相互の文化情報の交流に寄与できたものと考えられる。

更に、出展者への意識調査では、全ての出展者が高い満足度を得ていることが分かった。また、マイミュージアムギャラリーの存在価値を問う項目では、「価値有り」とした回答が多く高評価を得ることができた。

以上の結果から、マイミュージアムギャラリーの運営は、当初の目的を充足したものといえる。しかし、いずれも例年と同様の結果を得たにすぎず、更なる改

善が必要であることが明らかとなった。

また、平成24年度に出展者支援及び観覧者の満足度向上のために、作品のキャプションや説明文の記述方法についての研究を行った。その結果を令和2年度も展示会に活かしたところ、読み手の読解方略を体系的で利用しやすいキャプションで示すことができた。こういった研究も含め今後も出展者支援や観覧者の満足度向上に努めたい。

#### オ 令和3年度の出展申し込み

令和3年度出展候補としての令和2年10月までの申込は10件であった。申込みの内容は、コレクションと作品のバランスもよく、様々な年代の観覧者の興味・関心を喚起されることが期待できるものであった。

また、平成27年度から公共施設が行うマイミュージアムギャラリーへの移動博物館展示や高校生以下の部活動等による成果発表の場によるU-18ミュージアムを実施している。

#### カ 令和3年度展示計画及び今後の課題

令和3年度出展候補10件についてマイミュージアムギャラリー展示計画懇話会にて会員から意見を聴き7件の展示を決定した。また、年間をとおしての展示内容のバランスや本館展示との連携を考えて、コレクションを中心とする出展希望の更なる充実を図ることが今後の課題である。

#### 【マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の構成】

氏名	所属等
浅野 裕司	民間有識者
岩井 弘栄	民間有識者
遠藤真理子	関市協働推進部文化課課長 兼 関市文化会館館長
加藤誉使子	民間有識者
土屋 明之	岐阜県芸術文化会議会長
若宮 多門	岐阜県博物館協会会長

(五十音順 敬称略)

#### ②マイ・ミュージアムについて

マイ・ミュージアム棟が開設された平成7年頃はマルチメディアが珍しい時代であったが、現在は、PCやスマートフォン・タブレット機器で動画を編集することさえ特別ではなくなり、マルチメディアの普及や啓発を継続する意義は薄れてきた。他方、機器の更新や老朽化した既設機器の維持管理が困難な状況となり、利用や機器の稼働を休止している。

しかし、博物館事業において情報通信機器を活用する必要性が失われた訳ではなく、引き続き、情報化が不可欠な分野における機能低下を最小限に食い止め、制約がある中で情報を最大限発信できるよう、システム等の改善や整備に重点を置いた事業を推進する。

#### ア 収蔵資料データベースの運用

当館では、平成21年度末、全国の博物館や美術館でサーバを共有するサービス(SaaS)に当館に収蔵されているデータを移行する作業を実施した。そして平成

23 年度にサービス提供者と利用契約を結集し、インターネット公開を視野に入れた収蔵資料データベースの本格的な運用を開始した。

また、現物実査の成果をデータベースに登録し、データを精緻化したことで収蔵品を一元管理することが可能となった。備品登録と収蔵資料との整合性も担保された。学芸員間の研究に資する情報源として利用できるよう業務を進めている。その中で、収蔵品の中から研究者や一般の方の利用を想定した収蔵品データベースのホームページを作成し、「Pick Up」として当館学芸員の推薦する資料データを公開している。研究者等にも利用しやすいものとするため、さらなる公開に向けてデータの精緻化を行っている。

さらに、令和元年度に、収蔵品データベースシステムの外部公開機能を活用した、展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」の運用を開始した。「ポケット学芸員」は、来館者がスマートフォンを利用して展示解説を閲覧・聴取できるガイドアプリである。常設展示の解説原稿から音声データを作成し公開することで、来館者が音声ガイドを利用することができるようにした。(音声ガイドコンテンツ数：30 件(令和3年3月現在))

#### イ けんぱくホールの活用

けんぱくホールでは、外部団体の見学や講習会の会場として利用を図るとともに、「博物館学芸講座」と「ミュージアムシアター」を企画した。

#### (ア) 博物館学芸講座について

自然・歴史・文化等に対する知的好奇心を喚起し、文化振興に寄与することを目的に専門的・学術的内容の講演会を企画し実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から一部の講演会を中止とした。(日付の先頭に※があるものは中止となった講演会)

- ※ 4月19日(日) 伊藤純郎(筑波大学 教授)  
「満州移民と岐阜県」
- ※ 4月29日(水・祝) 高橋弘(岐阜大学名誉 教授)  
「岐阜県植物誌から浮かんだ岐阜県を特徴づける植物」
- ※ 5月31日(日) 岸本太郎(ふじのくに地球環境史ミュージアム 教授)  
「ヒアりに刺された男が語る外来生物の本当の怖さ」
- ※ 6月 7日(日) 鶴飼正樹(京都文教大学 教授)  
「岐阜の見世物稼業安田里美と安田興行社」
- 9月 6日(日) 入江康太(岐阜県歴史資料館 学芸員)  
「岐阜様の物語 ー今、明らかになる戦国を生きたお姫さまー」
- 11月14日(土) 増田孝(愛知東邦大学 客員教授)  
「自筆書状の魅力」
- ※11月23日(月・祝) 長田友也(中部大学 講師)  
「縄文時代の精神世界」
- 12月12日(土) 立花昭(当館人文係 学芸員)  
「初期万国博覧会と日本の輸出陶磁器」
- 1月17日(日) 村岡治道  
(岐阜大学地域減災研究センター)

特任准教授)

「地震後の食・トイレ・住まいを考える」

2月13日(土) 田中康平(筑波大学 助教)

「恐竜タマゴのナゾを追え！」

#### (イ) ミュージアムシアターについて

毎週日曜日に岐阜県の歴史や伝統文化を紹介した作品や、恐竜や自然保護等に関する作品など、優れた映像を上映し、青少年以上の年齢の来館者に郷土に対する理解や自然科学への関心を深め、その魅力を再認識する機会を提供することを目的に実施してきたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の使用を中止している。



## 7 資料収集活動

### (1) 収蔵資料数（令和3年3月31日現在）

#### ①人文分野

分野	資料数(件)
考古	461
歴史	1,409
民俗	1,649
美術工芸	1,309
合計	4,828

#### ②自然分野

分野	資料数(件)
動物	43,423
植物	90,942
岩石鉱物	2,157
化石	1,755
合計	138,277

### (2) 令和2年度寄贈資料一覧

#### ①人文分野

資料名	件数
飛州灰吹銀札	1
天秤（分銅18共）	1
秤	1
龍昌院旧蔵観音菩薩坐像	1
短刀 銘 若狭守氏房	1
短刀 無銘	1
脇指 銘 忠以為質仁以為衛／文政四辛巳年八月日 一帯子國安	1
脇指 銘 井上真改／菊紋 延宝五年八月日	1
脇指 銘 祐光	1
脇指 銘 越前国住下坂	1
竹光	2
刀 銘 備前国住長船清光／永禄五年八月日	1
刀 無銘	1

#### ②自然分野

資料名	件数
根尾のペルム紀魚類化石等	118
根尾のペルム紀魚類化石	180
Webシステム「ジオランドぎふ」	1
県内産化石資料	1
ココノオビアルマジロ（剥製）	1
サメの歯	10
後藤常明氏植物標本等	229
植物標本等	669
長瀬秀雄氏にかかわる資料等	12
植物のスライド	15
ブラジル産魚類化石	10

資料名	件数
岩石・鉱物標本（工芸品含み）	32
岐阜県地質図原図	1
メボソムシクイ	1
植物標本	5
植物標本	31
植物標本	8
植物標本	1
蛾類標本	147
アギナシ（植物標本）	1
ツクバネ（植物標本）	1
オハツキイチョウ（植物標本）	1
オオタカ	1
山州市の魅力（書籍）	2
動物標本など	94
荘川産卵殻化石	1
荘川産卵殻化石	2
植物標本	2
荘川産植物化石一式	148

### (3) 令和2年度購入資料一覧

#### ①人文分野

購入資料名	点数
増田長盛・長束正家連署状	1

#### ②自然分野

購入資料名	点数
恐竜足跡化石産地のVR機器	1
ティラノサウルスの足部骨格（複製）	1
ティラノサウルス科の足跡化石（複製）	1
角竜の足跡化石	1
モササウルスの模型（1／35）	1
スピノサウルスの椎骨（複製）	2
アリオラムスの頭骨（模型）	1
恐竜等頭骨レプリカ	10
ベニコンゴウインコ（頭骨）	1
恐竜化石レプリカ標本	8
ギンリョウソウモドキのレプリカ	1
恐竜化石レプリカ標本	10
逆断層及び正断層模型	1
キジ科鳥類（剥製）	2

## 8 教育普及活動

### (1) 教育普及活動

#### ①催し物開催状況

催し物(館内)は、体験・鑑賞型の「けんぱく教室」(子ども・家族向け)、「講演会」(大人向け:「特別展・企画展講演会」「マイミュージアムギャラリー展示関

連講演会」「博物館学芸講座」「博物館学芸講座特別企画」、三重県総合博物館(MieMu)との交流企画)を、各係が担当して館内、館外において実施した。三重県総合博物館(MieMu)との交流企画では、三重県総合博物館からは自然分野、岐阜県博物館からは人文分野の講師を相互に1名ずつ派遣して講演会を開催した。

#### <催し物開催状況一覧>

事業名	月	日	曜	定員	参加	事業名	会場(館外)
けんぱく教室	5	23	土	100	中止	スプリングフェスティバル けんぱくワークショップ	百年公園
	5	24	日	100	中止	スプリングフェスティバル けんぱくワークショップ	
	7	18	土	20	延期	恐竜パズルをつくろう	
	8	8	土	25×2	延期	恐竜を描こう -頭骨トレーシング-	
	8	10	月	5×2	12	収蔵庫探検 -自然史標本の役割を知る-	
	8	14	金	50	45	サマーナイトミュージアム	
	8	16	日	25	延期	恐竜を造ろう	
	8	16	日	25	延期	恐竜を組み立てよう	
	8	30	日	20×2	中止	御所浦島の化石レプリカを作ろう	
	9	21	月	20	15	消しゴムハンコで花押をつくろう	
	10	4	日	20	中止	甲冑を学ぼう	
	10	24	土	20	24	百年公園で秋を見つけよう	
	11	3	火	20	48	小笠原流 弓の演示	
	11	29	日	30	16	まが玉をつくろう	
	12	5	土	20	21	縄文ものづくり体験 -粘土で縄文アートを楽しもう-	
	12	15	火	25×2	14	姫きもの制作体験	
	12	19	土	50	41	クリスマスナイトミュージアム	
	12	20	日	15	10	収蔵庫探検 -自然史標本の役割を知る-	
	1	7	木	200	中止	七草がゆを食べよう	
	1	7	木	無	中止	ちょっと昔の正月遊び	
	1	11	日	25	30	恐竜を造ろう	
	1	11	日	25	21	恐竜を組み立てよう	
	1	23	土	25	中止	恐竜を描こう -頭骨トレーシング-	
1	30	土	20	19	恐竜パズルをつくろう		
2	20	土	10	11	小笠原流 礼法体験		
3	7	日	5×2	10	収蔵庫探検 -自然史標本の役割を知る-		
講演会	5	31	日		中止	学芸講座「ヒアりに刺された男が語る外来生物の本当の怖さ」	
	6	7	日		中止	学芸講座「岐阜の見世物稼業 安田里美と安田興行社」	
	7	4	土		延期	学芸講座「恐竜タマゴのナゾを追え！」	
	7	19	日		中止	特別展講演会「モンゴルと恐竜足跡化石 -アジア最大級の竜脚類足印の発見に至るまで-」	
	8	22	土		延期	特別展講演会「入門：最新恐竜学！」	
	9	6	日	40	43	学芸講座「岐阜様の物語 -今、明らかになる戦国を生きたお姫さま-」	
	9	26	土	40	40	特別展講演会「戦国サバイバル -美濃出身の大名たち-」	
	10	3	土	40	28	三重県総合博物館交流企画「新発見！三重のほとけたち -慶派の姿を求めて-」	
	11	1	日	65	60	特別展講演会「稲葉家からみた美濃の戦国」	
	11	7	土	65	49	学芸講座「古判手鑑と美濃の侍たち」	
	11	14	土	65	69	学芸講座「自筆書状の魅力」	
	11	23	月		中止	学芸講座「縄文時代の精神世界」	
	12	12	土	65	19	学芸講座「初期万国博覧会と日本の輸出陶磁器」	
	1	17	日	65	28	学芸講座「地震後の食・トイレ・住まいを備える」	
	2	13	土	65	54	特別企画展講演会「恐竜タマゴのナゾを追え！」	
2	20	土	65	54	特別企画展講演会「入門：最新恐竜学！」		
2	27	土	65	中止	連携企画展講演会「赤羽刀はこう観る」		
3	7	日	65	43	小笠原流と弓と私		

けんぱく教室	15回	280名	館内催し物	25回	743名
講演会	11回	487名	館外催し物	1回	24名
合計	26回		人数		767名

## ②わくわく体験コーナー

わくわく体験コーナーは、主に第2・第4日曜日に開催している。新型コロナウイルス感染防止のため、5月までのわくわく体験は中止した。6月14日より、体験場所を研修室から講堂とし、6組×4回の会場への入場者制限を行いながら再開した。体験メニューは「化石取り出し体験」「化石レプリカづくり」「どんぐり標本箱づくり」「組紐アクセサリーづくり」の4つに限定して実施した。「万華鏡づくり」「どんぐりフォトフレームづくり」は感染対策が十分できないと判断して、実施しなかった。

### <わくわく体験コーナー>

実施回数	参加人数	実施メニュー
21回	1,255人	化石取り出し体験、化石レプリカづくり、どんぐり標本箱づくり、組紐アクセサリーづくり

## ③展示解説

常設展解説は、毎日午前11時と午後2時に解説員により行った。今年度は、新型コロナウイルス感染対策として、1回の人数を15名程度や、4名程度と人数制限を設けて実施した。テーマは「恐竜の話」・「合掌造りの話」・「鶴飼の話」・「輪中の話」・「大昔の人々のくらしの話」・「岐阜の大地の成り立ちの話」があり、時期や来館者の様子に応じて内容を選択して実施した。特別展・企画展解説（ギャラリートーク）については、新型コロナウイルス感染防止のため、今年度は実施を見送った。

### <展示解説>

	実施回数	参加人数	内 容
常設展	249	1,521	解説員による常設展示解説
特別展・企画展	0	0	担当学芸員による展示解説（ギャラリートーク）

## ④移動博物館・出張けんぱく教室

移動博物館・出張けんぱく教室は、以下のことを目的としている。

- ・遠隔地の県民に県博物館の財産（展示・教育普及事業）を享受する機会を提供すること。
- ・来館者を待つことから、資料や体験教室を持って外へ打って出ることへの転換をはかり、博物館への関心を今一度呼び戻す方途とすること。
- ・子どもや若者が多く集う近隣市町村の民間商業施設やイベントにおいても開催することで、主として青少年等の若い世代に当館に対する関心を高めてもらう機会とすること。

なお「移動博物館」とは、展示資料のうち当館の資料が半分以上で、当館の共催・協力で開催した展覧会と、教育普及的な展示に体験教室を組み合わせた自治体や団体が実施するイベントで、当館が共催・協力により実施するもののことをいう。また、「出張けんぱく教室」とは、博物館以外で実施する催し物で、自治体や団体が実施するイベントにおいて当館が共催・協力により実施するものを含んでいる。

令和2年度においては、当初民間商業施設や各種イベントへの参加を計画・予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、商業施設においても、集客イベントを自粛したり、各種イベントが中止されたりして、移動博物館や出張けんぱく教室についてはすべて中止となった。（計画の記載については、中止判断をした関係機関もあるので、ここでは省略する。）

## ⑤団体利用

新型コロナウイルス感染の拡大状況から、例年利用している団体であっても、予約していてもキャンセルしたり、校外行事を見送る判断をしたりする学校団体が目立った。市町村教委単位での一括の判断に従ったり、学校独自の判断で中止や計画の変更をしたりする事例があった。夏季休業期間前の学校団体の利用は無く、警察学校の来館のみであった。夏季休業期間以降は、感染動向を見極めながら、市町村単位での判断などから中止や延期をする学校団体があった。例年は冬期休業期間以降に利用の多かった幼稚園の来館に関しても、今年度は少なかった。

また、感染防止のため、入館時の検温と消毒を実施した。解説員による「恐竜の話」についても、一度にメインホールで聞くことができる人数を40人（1クラス相当）までとした。さらには、前年度までは、雨天時の昼食場所として講堂などを開放していたが、建物内については、基本的に食事場所を提供しなかった。

学習活動では、生活科との関連を図った「秋みつけ」を博物館サポーターの協力を得ながら実施する一方、「どんぐり工作」などの制作体験活動については、感染防止のため場所提供のみとした。展示では、自然展示室1・2を活用したワークシートを主に実施した。中学校の利用については、自由見学に加え、学芸員による特別展の展示解説や博物館授業を、複数回に分けることで、1回に集まる人数を制限するなど、コロナへの感染防止対策を取りながら実施した。

<団体利用>

月	日	曜	所在地	団体名	対象	人数	活動内容
6	25	木	関市	岐阜県警察学校	初任科生	75	展示解説
6	26	金	関市	岐阜県警察学校	初任科生	65	展示解説
6	30	火	関市	岐阜県百年公園事務所	一般	17	施設利用、展示解説
9	16	水	八百津町	八百津町立和知小学校	小1,2	41	野外観察 展示セルフガイド 展示解説
9	22	火	愛知県一宮市	放課後等デイサービス ルック未来びさい	幼～高校生	17	自由見学
9	24	木	愛知県扶桑町	扶桑町立柏森小学校	小3	129	展示解説 展示セルフガイド
9	25	金	岐阜市	岐阜県文化財保護協会	一般	29	展示解説 自由見学
9	25	金	下呂市	下呂市立中原小学校	小6	14	自由見学
9	25	金	下呂市	下呂市立上原小学校	小6	9	自由見学
9	26	土	美濃加茂市	放課後等デイサービス てくてく	小～高校生	7	自由見学
10	2	金	関市	関市立武芸小学校	小1,2	31	展示セルフガイド、野外観察(秋みつけ)
10	2	金	本巣市	本巣市立土貴野小学校	小1	21	展示解説(恐竜の話)、展示セルフガイド、体験活動(葉っぱや実でつくろ)、野外観察(秋みつけ)
10	6	火	関市	関市立上之保小学校	小1,2	16	展示解説(恐竜の話)、展示セルフガイド、野外観察(秋みつけ)
10	6	火	愛知県一宮市	一宮市立大和南小学校	小3	52	展示解説(恐竜の話)、展示セルフガイド、野外観察(秋みつけ)
10	8	木	関市	岐阜県博物館友の会	一般	13	施設利用
10	8	木	関市	関市立富野小学校	小1,2	33	展示セルフガイド、体験活動(どんぐりへり)
10	8	木	関市	関市立寺尾小学校	小1,2	7	展示解説(恐竜の話)、展示セルフガイド、自由見学
10	13	火	美濃市	美濃市立藍見小学校	小2	24	展示解説(恐竜の話)、展示セルフガイド、体験活動(化石レプリカ)、野外観察(秋みつけ)
10	13	火	関市	関市立南ヶ丘小学校	小1,2	29	展示解説(恐竜の話)、展示セルフガイド、野外観察(秋みつけ)
10	13	火	本巣市	本巣市立糸貫中学校	中3	136	自由見学
10	14	水	関市	関市立瀬尻小学校	小1	72	自由見学
10	14	水	関市	関市立洞戸小学校	小1,2	34	野外観察 自由見学 展示解説
10	15	木	愛知県江南市	江南市立古知野北小学校	小2	75	展示セルフガイド 展示解説
10	16	金	大垣市	大垣市立小野小学校	小2	153	展示セルフガイド 野外観察 展示解説
10	16	金	関市	関市立武儀西小学校	小1,2	23	野外観察 体験活動
10	16	金	関市	関市立金竜小学校	小3	129	展示解説 野外観察
10	16	金	郡上市	白鳥幼稚園・保育園	年長	22	自由見学
10	21	水	関市	関市立下有知小学校	小1	68	体験活動
10	21	水	関市	関市立桜ヶ丘小学校	小1	65	野外観察
10	21	水	関市	関市立博愛小学校	小1	23	野外観察 展示セルフガイド 体験活動
10	22	木	中津川市	中津川市立坂本小学校	小4	147	自由見学
10	22	木	岐阜市	岐阜朝鮮初中級学校	小～中	13	自由見学
10	23	金	愛知県大口町	大口町立大口北小学校	小3	106	展示セルフガイド
10	27	火	岐阜市	岐阜市立芥見東小学校	小6	76	展示セルフガイド
10	28	水	岐阜市	岐阜県歴史資料保存協会	一般	20	講話 自由見学
10	28	水	笠松町	笠松町立笠松小学校	小1	37	展示解説 展示セルフガイド 野外観察
10	28	水	関市	関市立旭ヶ丘小学校	小2	53	体験活動 展示解説 展示セルフガイド
10	29	木	関市	関市立旭ヶ丘小学校	小1	77	体験活動
10	30	金	本巣市	本巣市立一色小学校	小1	23	展示セルフガイド 野外観察
10	31	金	岐阜市	岐阜聖徳学園大学	大学生	19	施設利用
11	1	金	岐阜市	岐阜聖徳学園大学	大学生	19	施設利用
11	4	水	岐南町	岐南町立北小学校	小1	62	野外観察 展示解説 展示セルフガイド
11	4	水	笠松町	笠松町立松枝小学校	小1	92	野外観察 体験活動 展示解説
11	5	木	関市	関市立金竜小学校	小1	111	展示セルフガイド
11	5	木	関市	関市立安桜小学校	小2	59	展示解説 自由見学
11	5	木	岐阜市	岐阜女子大学	大学生	21	その他
11	6	金	関市	関市立瀬尻小学校	小2	76	自由見学
11	10	火	七宗町	七宗町立神淵小学校	小1,2	13	野外観察 体験活動
11	11	水	美濃加茂市	美濃加茂市立古井小学校	小2	115	その他 展示セルフガイド 展示解説 公共施設の工夫
11	13	金	美濃加茂市	美濃加茂市立加茂野小学校	小1	128	展示解説 体験活動 野外観察
11	18	水	関市	関市立武儀東小学校	小3	12	展示解説 自由見学 野外観察
11	26	木	関市	百年公園運営協議会	一般	18	施設利用
11	26	木	輪之内町	輪之内町立大藪小学校	小4	40	自由見学

月	日	曜	所在地	団体名	対象	人数	活動内容
12	11	金	岐阜市	岐阜県立長良特別支援学校	高1,2,3	6	自由見学 体験活動
12	12	土	愛知県	名古屋女子大学	大学生	6	講話 自由見学
1	15	金	関市	関市立小金田中学校	中1	131	特別展解説 博物館授業 自由見学
1	21	木	岐南町	岐南町立東小学校	小1	107	展示セルフガイド 展示解説
1	30	土	岐阜市	虹色サポート岐阜	小・中・高	43	自由見学
2	19	金	関市	虹ヶ丘幼稚園	年長	81	展示見学、自由見学
2	27	土	岐阜市	岐阜大学教育学部	大学生	34	講話 自由見学
3	9	火	岐阜市	岐阜大学教育学部附属小中学校	中1	8	自由見学
3	10	水	関市	関市立武儀東小学校	小5	14	展示セルフガイド 展示解説
3	10	水	関市	関市立武儀西小学校	小5	11	展示セルフガイド 展示解説
3	10	水	関市	関市立上之保小学校	小5	9	展示セルフガイド 展示解説
3	11	木	岐阜市	岐阜女子大学	大学生	25	講話 自由見学
3	27	土	関市	せきまちなか子ども食堂	小学生	27	体験活動 自由見学

	団体数	人数
学校団体（幼保含む）	57校	3,077
学校以外の団体	9団体	191
合計	66団体	3,268

#### ⑥出前授業・講師派遣

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響のため、依頼自体が少ない傾向であった。依頼のあった件については、招聘先として各種団体が中心で、職員研修、地域学習、生涯学習の場として、様々な目的に活用されていた。

#### <出前授業・講師派遣>（教育普及）

期 日	依頼者（会場）	対象	人数	講演内容
令和2年 9月25日（木）	中津川市立加子母小学校（博物館からリモート）	中学生	30	博物館の紹介・特別展解説
令和2年 9月25日（木）	中津川市立阿木小学校（博物館からリモート）	中学生	16	博物館の紹介・特別展解説
令和2年11月11日（水）	下呂市立上原小学校（博物館からリモート）	小学生	5	総合的な学習の時間（環境問題）の質問回答
令和2年12月 3日（木）	山県市富岡公民館（富岡小学校）	小学生	53	化石取り出し体験
令和3年 2月 9日（火）	高山市立荘川中学校（博物館からリモート）	中学生	30	特別企画展解説、恐竜頭骨トレーシング
令和3年 2月10日（水）	IAMAS（岐阜県博物館からリモート・配信）	一般	測定不能	特別企画展解説
令和3年 2月17日（火）	揖斐川町立小島小学校	小学生	9	化石レプリカづくり

#### <出前授業・講師派遣>（自然）

期 日	依頼者（会場）	対象	人数	講演内容
令和2年 9月24日	関市立金竜小学校（千疋橋下 長良川河畔）	小4	65	水生生物による環境調査活動
令和2年10月 7日	岐阜県教育委員会（岐阜県博物館）	教員	107	幼稚園等新規採用教員研修
令和2年10月30日	岐阜県教育委員会（岐阜県博物館）	教員	21	博物館活用講座
令和2年11月15日	東海化石研究会（南生涯学習センター）	研究会員	30	講演「恐竜の足跡と痕跡」

#### <出前授業・講師派遣>（人文）

期 日	依頼者（会場）	対象	人数	講演内容
令和2年 6月26日	公益財団法人岐阜かかみがはら航空宇宙博物館	一般	10	刀剣の取り扱い
令和2年 9月20日	本巣市能郷白山神社	氏子・市職員	5	神宝の保存環境について現地確認と改善提案
令和2年 9月24日	本巣市根尾公民館	市職員	2	市施設の展示収蔵環境の現地確認と改善提案
令和2年12月 9日	岐阜県立海津明誠高等学校	高2	170	関ヶ原合戦と岐阜



⑦資料貸出

	機 関 名	資 料 名	貸出開始期日	貸出終了期日	点数
自 然	岐阜県立岐山高等学校	川原の石教材セット	令和2年 6月14日	令和2年 7月 5日	1
	(公財) 日本モンキーセンター	哺乳類の剥製	令和2年 6月20日	令和2年10月25日	9
	エコミュージアム関ヶ原	昆虫標本	令和2年 7月 1日	令和2年 9月10日	9
	御嵩町立御嵩小学校	オシドリの剥製	令和2年 8月19日	令和2年 9月 7日	2
	高山市立花里小学校	化石レプリカセット	令和2年 8月29日	令和2年 9月 6日	30
	エコミュージアム関ヶ原	鳥類の剥製	令和2年 9月 1日	令和2年11月29日	6
	関市立小金田中学校	哺乳類の頭骨	令和2年10月 6日	令和2年10月13日	14
	池田町立池田中学校	動物骨格標本	令和2年10月10日	令和2年10月24日	6
	山県市立大桑小学校	化石レプリカセット	令和2年10月14日	令和2年10月15日	15
	関市立旭ヶ丘中学校	哺乳類の頭骨	令和2年10月23日	令和2年10月31日	18
	岐阜県立岐阜農林高等学校	外来生物の動物標本	令和2年10月30日	令和2年11月13日	11
	岐阜県立飛騨高山高等学校	アンモナイト石膏型	令和2年12月26日	令和3年 1月 6日	30
	人 文	高山陣屋管理事務所	トビ(川狩り用)他	平成31年 4月 1日	令和2年 3月31日
済法寺		木造十一面観音立像(レプリカ)他	令和元年 5月 1日	令和2年 4月30日	5
(公財) 土岐市文化振興事業団		崇禅寺釈迦如来立像(レプリカ)	令和2年 1月15日	令和2年 6月20日	1
岐阜関ヶ原古戦場記念館		刀 銘 濃州神戸住源一兼信ほか	令和2年10月 7日	令和2年11月10日	4
多治見市美濃焼ミュージアム		元和八年銘織部燭台	令和3年 1月14日	令和3年 4月30日	1
	合 計				177

⑧画像提供等

	機 関 名	資 料 名	申請日(提供日)	点数
自 然	岐阜大学地域科学部	魚類標本(画像)	令和2年 4月24日	22
	山根秋郷	ニッポンサイ(画像)	令和2年 5月 7日	1
	岐阜大学地域科学部	藁打ち用の槌(画像)	令和2年 5月10日	3
	国立国会図書館	平成30年度図録表紙(画像)	令和2年 6月 1日	1
	岐阜大学地域科学部	魚類標本(データ)	令和2年 7月 7日	2,902
	(株) KADOKAWA	ダイノニクス(画像)	令和2年 8月 1日	1
	伊藤隆裕	ヨーロッパバナマズなど(標本利用)	令和2年 8月15日	2
	愛知みずほ大学人間学部	貝類標本(標本利用)	令和2年 8月26日	100
	福井県立恐竜博物館	恐竜足跡化石露頭レプリカ(画像)	令和2年 9月 1日	1
	笠松町歴史未来館	ウィーヘルト式上下地震計など(画像)	令和2年 9月12日	3
	御嵩町立向陽中学校	カリコテリウム(画像)	令和2年11月 1日	2
	朝日学生新聞社	イグアノドン(画像)	令和2年12月 1日	1
	岐阜大学教育学部	魚類標本(データ)	令和3年 3月31日	2,902
	合同会社くらしたび	水鳥断層崖など(画像)	令和3年 6月 1日	4
	岐阜新聞	金華山に露出するチャート	令和3年 2月21日	1
岐阜大学地域科学部	魚類標本(画像)	令和2年 4月24日	22	
人 文	(株)天夢人	博物館外観	令和2年 4月19日	1
	日本経済新聞社東京本社編集局	増山たづ子「榎原分校」	令和2年 4月19日	1
	不破関資料館	壬申の乱図ほか	令和2年 4月21日	3
	個人(テレビ朝日)	真書太閤記本能寺焼討之図ほか	令和2年 4月24日	2
	(株)碧水社	篠脇城模型	令和5年 5月 1日	1
	(公財)日本武道館	板垣君遭難之図	令和2年 5月19日	1
	個人(島根大学法学部)	円満寺山古墳出土鏡	令和2年 5月22日	2
	関ヶ原町	壬申の乱図	令和2年 5月28日	1
	岐阜県商工労働部観光国際局観光企画課	真書太閤記本能寺焼討之図	令和2年 6月13日	1
	関ヶ原町	壬申の乱図	令和2年 6月30日	1
	(株)コミュニティネット	稲葉正成画像	令和2年 7月13日	1
	(株)美和企画	刀 金象嵌銘 和泉守兼定/なる神	令和2年 7月22日	1
	岐阜県商工労働部観光国際局観光企画課	真書太閤記本能寺焼討之図	令和2年 8月 2日	1
	(株)戎光洋出版	板垣君遭難之図	令和2年10月30日	1
	(株)ディラナダチ	太平記屋間崎大合戦之図	令和2年11月20日	1
	長良小学校	円満寺山古墳出土鏡	令和2年12月18日	1
	関市	短刀 銘 和泉守藤原兼定作	令和3年 1月 6日	1
(有)由木デザイン	脇指 銘 二王	令和3年 1月15日	1	
	合 計			5,990

⑨刊行物

名 称	種 別	発行年月日	判、頁	部 数
岐阜県博物館報第 43 号	刊行物	令和 2 年 4 月 1 日	A 4、43 頁	700
岐阜県博物調査研究報告第 41 号	刊行物	令和 3 年 3 月 31 日	A 4、25 頁	600
令和 3 年度 展示・催し物年間スケジュール	リーフレット	令和 3 年 3 月 31 日	A 4、3 ツ折	40,000
館内ガイド	リーフレット	令和 3 年 3 月 31 日	A 4、3 ツ折	30,000
2021 教員のための博物館の日 in 岐阜県博物館	チラシ	令和 3 年 3 月 31 日	A 4、両面	1,800
<b>【展覧会刊行物】</b>				
企画展「ヒアリがやってくる」	ポスター	令和 2 年 5 月 19 日	B 2、片面	1,600
企画展「ヒアリがやってくる」	チラシ	令和 2 年 5 月 29 日	A 4、両面	34,000
移動展「飛騨と岐阜県植物誌」	ポスター	令和 2 年 6 月 19 日	B 2、片面	1,400
移動展「飛騨と岐阜県植物誌」	チラシ	令和 2 年 6 月 19 日	A 4、両面	26,000
特別展「光秀が駆けぬけた戦国の岐阜」	ポスター	令和 2 年 9 月 18 日	B 2、片面	1,800
特別展「光秀が駆けぬけた戦国の岐阜」	チラシ	令和 2 年 9 月 18 日	A 4、両面	110,000
特別展「光秀が駆けぬけた戦国の岐阜」	図録	令和 2 年 9 月 18 日	A 4、88 頁	600
連携企画展「岐阜大学と岐阜県植物誌」	ポスター	令和 2 年 8 月 17 日	B 2、片面	1,600
連携企画展「岐阜大学と岐阜県植物誌」	チラシ	令和 2 年 8 月 17 日	A 4、両面	34,000
特別企画展「みんなの恐竜学」	ポスター	令和 2 年 12 月 12 日	B 2、片面	1,800
特別企画展「みんなの恐竜学」	チラシ	令和 2 年 12 月 12 日	A 4、両面	110,000
特別企画展「みんなの恐竜学」	図録	令和 2 年 12 月 12 日	A 4、92 頁	600
連携企画展「千磨百錬 よみがえる赤羽刀」	ポスター	令和 3 年 1 月 19 日	B 2、片面	700
連携企画展「千磨百錬 よみがえる赤羽刀」	チラシ	令和 3 年 1 月 19 日	A 4、両面	14,000
<b>【マイ・ミュージアム刊行物】</b>				
マイ・コレクション 第 185 号	チラシ	令和 2 年 5 月 29 日	A 4、両面	1,500
マイ・コレクション 第 186 号	チラシ	令和 2 年 7 月 11 日	A 4、両面	1,500
マイ・コレクション 第 187 号	チラシ	令和 2 年 9 月 19 日	A 4、両面	34,000
マイ・コレクション 第 187 号	ポスター	令和 2 年 9 月 19 日	B 2、片面	1,600
マイ・コレクション 第 188 号	チラシ	令和 2 年 12 月 5 日	A 4、両面	1,500
マイ・コレクション 第 189 号	チラシ	令和 3 年 2 月 6 日	A 4、両面	1,500
マイミュージアムギャラリー	ポスター	令和 3 年 3 月 31 日	B 2、片面	1,600
マイミュージアムギャラリー	チラシ	令和 3 年 3 月 31 日	A 4、両面	14,000

⑩図書館資料（令和 3 年 3 月 31 日末現在）

	図書館資料数	備 考
一 般 資 料	23,553	含 刀剣文庫
郷 土 資 料	6,075	
児 童 書	1,121	
博 物 館 資 料	5,840	含 当館資料、棚橋文庫、熊田文庫
合 計	36,589	

## (2) 広報活動

入館者及びの館外での博物館利用者の増加を目指して、広報活動の充実を図った。

### ①館外掲示の活用

博物館入口前、百年公園北口及び南口の掲示物ケース内に直近及び2か月中に開催予定の催し物情報を示し、百年公園来園者に対する当館への誘導を行った。また、特別展・企画展開催中であることを、公園北口から館入口までの各掲示板にポスターを用いてアピールした。

### ②館内掲示の活用

館入口から本館インフォメーションまでの入館者の移動経路上に、過去の特別展・企画展のポスターアーカイブ、人文・自然分野の特集、館内見どころ案内などを掲示して、博物館の活動や所蔵資料等に対する入館者の興味関心の高揚に努めた。

### ③情報誌の積極的な活用

県内及び近隣の県で発行されている情報誌や、博物館や観光の紹介ウェブサイト上の読者プレゼントコーナーに招待券を提供した。展覧会の内容に興味関心がある方々が自身で応募されているので、提供した招待券の多くは活用されている。

### ④情報配信メールの活用

情報配信リストに登録された方に、催し物や講演会、各種講座の開催情報を提供した。各イベントの面白さや意義などを伝えることで、参加者の増加につながった。

### ⑤SNSによる積極的な情報の発信

ホームページに組み込んである当館公式ツイッターと公式 Facebook ページを積極的に活用し、楽しくてためになるタイムリーな情報発信に努めた。日頃から SNS に慣れ親しんでいる若い世代への情報提供に役立ち、「いいね」やリツイートの数も増えてきている。その他、開催するイベント告知だけでなく、各係・学芸員発の専門色のある旬の情報発信も好評だった。

### ⑥人気マスコットキャラクターの活用

当館の人気キャラクターの「博くん」「アロちゃん」「デスモスさん」を館内外の掲示や SNS へ登場させて、広報大使を務めさせた。昨年に引き続き、夏から秋にかけてインターネット上で投票が行われる「ミュージアムキャラクターアワード 2020」にアロちゃんを立候補させた。その結果、今年の博くんより2つ順位を上げて、全国6位に入賞し表彰された。

## (3) 博物館実習（大学生向け）

7月22日（水）から7月26日（日）までの5日間、岐阜女子大学（2名）、岐阜大学（1名）、愛知学院大学（1名）、名城大学（1名）、皇學館大学（1名）の5大学から6名の学生を受け入れた。分野別の受け入れ状況は、教育普及1名、自然1名、人文4名であった。実習内容は下記の通りである。

## <実習内容>

第1日目	実習開講式、館長講話、学芸部長講話、岐阜県博物館の概要、博物館学芸員の仕事、教育普及係の仕事、人文係の仕事・人文資料の概要
第2日目	人文係の仕事・人文資料の概要、マイ・ミュージアム係の仕事、分野別実習
第3日目	分野別実習
第4日目	分野別実習
第5日目	分野別実習

## (4) 職場体験学習（中学生）

例年は、関市及び岐阜市の中学校6校から職場体験学習の依頼を受け、各校1～3日間の日程で、職場体験学習の生徒を受け入れるのだが、今年度は新型コロナウイルス対応で各校から校外での体験学習の取りやめの連絡があり、実施しなかった。

## (5) 教員のための博物館の日（団体利用説明会）

国立科学博物館が提唱する教員向けプログラム「教員のための博物館の日」を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のための休校措置が6月まで継続した関係で、多くの学校の夏季休業期間が短縮されたために、今年度は中止とした。

実施内容は、各展示解説、ものづくり体験、博物館の活用例紹介などの時間割をあらかじめ組んでおき、参加者個々が好きなプログラムを選択して参加できる方法を予定していた。

また、秋以降に来館予定の学校団体向けの団体説明会を今年度は同日に実施して、学校職員の負担軽減を図ろうとしたが、実施できなかった。その代替措置として、7月28日・29日と8月18日・19日に団体利用説明会のみを実施した。

## <団体利用説明会の開催日と参加校>

	開催日	参加校数
1日目	7月28日（火）	12校
2日目	7月29日（水）	3校
3日目	8月18日（火）	13校
4日目	8月19日（水）	8校

## (6) 三重県総合博物館（MieMu）との交流事業

今年度も、互いの職員が出向いて交流企画講演会を行った。

### <実施内容>

#### 【三重県総合博物館（MieMu）からの派遣】

日時 令和2年10月3日  
演題 「新発見！三重のほとけたち～慶派の姿を求めて～」  
講師 瀧川 和也（三重県総合博物館学芸員）  
会場 岐阜県博物館

#### 【岐阜県博物館からの派遣】

日時 令和2年9月13日  
演題 「学校理科室に眠る標本は果たしてゴミか？」  
講師 説田 健一（岐阜県博物館学芸員）  
会場 三重県総合博物館（MieMu）

## 9 利用状況

### (1) 利用者数

令和2年度は、4月3日から5月18日までを新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館としたために、4月と5月の入館者数・利用者数が少なかった。しかし、特別展・特別企画展の期間中には、多くの方を迎えることができた。

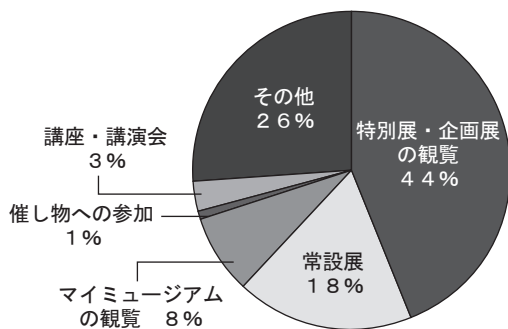
団体入館者は、66団体3,268人で、博物館入館者総数の10%弱（例年は20%以上）と、団体利用率が低かった。

月	館内利用					館内及び館外利用
	入館者数	一般	大学生	高校生以下	一日平均	
4	116	68	2	46	39	116
5	793	476	9	308	66	793
6	1,741	1,135	142	464	70	5,304
7	2,161	1,381	54	726	83	8,526
8	3,410	2,025	35	1,350	131	4,535
9	4,402	2,715	49	1,638	169	10,021
10	5,462	3,082	51	2,329	202	8,344
11	5,061	3,142	76	1,843	202	13,805
12	3,130	1,927	26	1,177	130	3,987
1	3,737	2,169	38	1,530	156	4,860
2	7,326	4,342	94	2,890	305	9,501
3	2,498	1,583	60	855	96	3,992
計	39,837	24,045	636	15,156	149	73,784

特別企画展／特別展	期 間	一 般	大学生	高校生以下	計
光秀が駆けぬけた戦国の岐阜	9/18（金）～11/15（日）	6,374	141	4,958	11,473
みんなの恐竜学	12/12（土）～2/28（日）	7,164	152	5,461	12,777

### (2) 来館者アンケート

来館者の実態や意識を把握して今後の博物館運営に生かすために、アンケート調査とその結果を考察している。このアンケートは、県政モニターの方に回答していただいたり、館内数か所に設置した回収箱付近で、来館者が自発的に記入して投函したりする方法で行っているものである。



【図1 来館目的（複数選択可 n=285、R2年4月～R3年3月）】

来館目的では、図1に示すように、「特別展・企画展」「常設展」の2項目が多く、この傾向は例年と変わらなかった。「その他」の中には「百年公園に来たので(9%)」「博物館に興味を持ったので(9%)」が含まれている。これは、百年公園内での掲示や、各種メディアへの情報提供、民間施設など館外での出展などによる広報活動が功を奏したものと考えられる。

来館者の満足度については、表1に示すように、いずれも94%以上と高い。特別展・企画展もさるこ

【表1 来館者の満足度（選択式 n=285、R2年4月～R3年3月）】

※選択肢は「大変良い」「まあ良い」「あまり良くない」「良くない」の4つ。  
このうち前2者、後2者をそれぞれ合わせた割合を、満足度、不満足度として示す。  
満足度の列の（ ）内の数値は、無回答分を除いて算出した満足度を表す。

内 容	満足度	不満足度	無回答
特別展・企画展	97(98)	1	2
常設展	89(98)	1	10
MMG	65(95)	3	32
展示解説	67(95)	3	30
催し物	56(94)	4	40

[%]

とながら、常設展の良さにも目を向けていただいていることがわかる。常設展を活用した子ども用の展示ワークシートが家族連れの来館者を中心に楽しまれているほか、ナイトミュージアムでの博物館探検シートなども好評であった。

無回答の割合が、約2～40%あるのは、回答者の来館日にその内容が開催されていなかったことその他、ご覧いただけなかったことも考えられる。各内容の魅力が館内外でさらに広報していくことが今後の課題である。

記述式による回答には、建物や展示物の老朽化の指摘や交通の便、ショップの営業やカフェの併設などハード面に関する要望の一方で、より子どもが楽しめるプログラムや体験型イベントの増設の要望もあった。館内外にある魅力的な資源（物的、人的、環境的など）の活用など、ソフト面におけるさらなる工夫改善・充実を図っていく。



## 10 博物館関係団体

### (1) 岐阜県博物館友の会

博物館「友の会」は、博物館事業の普及を図るとともに、会員相互の教養を高め、親睦を深めることを目的とする会である。そのために、博物館と密接に連携を取り、博物館の事業や活動をサポートしている。

令和2年度の一般会員数は246名、後援会員は6団体である。会員数はここ数年ほぼ横ばい状態。これは、特別展・企画展の充実により加入者は増えているが、一方で、継続会員の高齢化が進み、退会者も多いのが現実である。

若い人たちをより惹きつけるような会になるよう、博物館と一層の連携を図り、生涯学習に繋がる魅力的な活動を推進していくことが課題である。

令和2度の主な事業、行事は次の通りである。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、いくつかの事業を縮小・中止した。

#### ①会議

会長・副会長会議（春季理事会・総会に代えて）

5月14日（木）

秋季理事会 10月8日（木）

会長・副会長会議 令和3年3月13日（土）

#### ②各種委員会

会報委員会 4月16日（木）

七草委員会 なし

探訪委員会 令和3年3月13日（土）

会計監査 4月16日（木）

#### ③広報誌の発行

「友の会報」は128号（6月）129号（10月）130号（2月）の年3回発行した。各誌A4判6頁モノクロ、270部。また、会報の一部を博物館HPに掲載した。

#### ④図録の刊行と在庫図録の販売

特別展に合わせ、「光秀が駆けぬけた戦国の岐阜」、特別企画展「みんなの恐竜学」の2種類の図録を刊行した。どちらの図録も、好評であった。在庫図録は、館内ショップでの販売と、「東京国立博物館」、「国立歴史民俗博物館」、「下呂発湯温泉博物館」での委託販売が中心である。

また、刊行後10年を経過した図録のうち展示に関係する一部の図録については、価格を値下げし販売した。

#### ⑤博物館との共催事業の実施

##### ・特別行事

「七草がゆを食べよう（1月7日予定）」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため秋季理事会で開催中止を決定した。

##### ・わくわく体験

臨時休館明けの6月の第2日曜日から「化石取り出し体験、化石レプリカづくり、等、サポーターの協力も得て実施した。

##### ・けんぱく教室

「まが玉をつくろう」「消しゴムハンコで花押をつくろう」等を実施。例年開催してきた地域のイベントや民間商業施設での出張けんぱく教室は実施できなかった。

#### ⑥友の会員の入館料助成

今年度の会員の博物館入館者は、常設展245人、特別展間138人の計383人で、その入館料（団体料金相当）を友の会で助成した。

#### ⑦探訪の旅

友の会では、会員相互の親睦を図るとともに、見聞を広め、教養を高めるために、海外への探訪並びに国内探訪を実施している。昭和61年以降、国内探訪として、歴史的な名所、旧蹟を訪ねる旅行を83回実施した。平成4年からは、更に海外探訪の旅を加え、世界遺産見学を中心に、これまでに15回に及ぶ訪問国の文化と歴史を研修する旅を進めてきた。研修と見学を柱とした友の会探訪の旅の特色は次の通りである。

- ・探訪の目的を明確にして、手作りの日程を策定する。
- ・会独自の解説書を作成し、参加者全員に配布して、現地での研修、見学に活用している。

令和2年度の探訪の旅は以下の通り計画したが、新型コロナウイルス感染拡大のためいずれも中止とした。

「本居宣長ゆかりの地と三重県総合博物館（MieMu）を訪ねて」5月31日（日）予定・中止

「復元された鶴丸城御楼門と神話の里高千穂峽を訪ねる旅」2月1日（火）～4日（金）参加予定者25名・中止

### (2) 岐阜県博物館協会

岐阜県博物館協会は、「会員相互の連絡提携のもとに社会教育の健全な推進と文化の向上に寄与すること」を目的に、昭和41年に設立された。

令和2年度は公開講座（年3回）、機関紙発行（年2回）、会員研修会（年3回）等の諸事業を行った。

令和3年3月現在、会員館は114館、個人会員は15名。主な役員は次の通りである。

会長：若宮 多門

副会長：名和 哲夫、日比野克彦、川本 敏、高橋 秀治、牛丸 岳彦

なお、事務局は岐阜県博物館内にある。

#### <主な事業>

5月	第1回総会（書面議決）
6月	東海地区博物館連絡協議会 日本博物館協会 東海支部理事会 総会（岐阜） （書面議決）
7/10	もの部会令和2年7月豪雨被災状況アンケート調査
7/11・16	もの部会被災館現地調査
7/29	ひと部会写真デジタルデータの保管に関するアンケート調査
8/1	こと部会新型コロナ対策に関するアンケート調査
9/15	中濃ブロック部会公開講座
9/30	機関紙『岐阜の博物館』No.187発行
10/17	飛騨ブロック部会公開講座
1/21	ひと部会コロナ対策アンケートに関する意見交換会
2/10	東濃ブロック部会研修会
2/13	中濃ブロック部会研修会
2/28	中濃ブロック部会公開講座
3月	理事会（書面協議）
3/12	ひと部会 × 中濃ブロック部会公開講座
3/31	機関紙『岐阜の博物館』No.188発行

## IV 利用案内（令和3年度）

- 開館時間 4月～10月 9時～16時30分（入館は16時まで）  
11月～3月 9時30分～16時30分（同上）

- 入館料

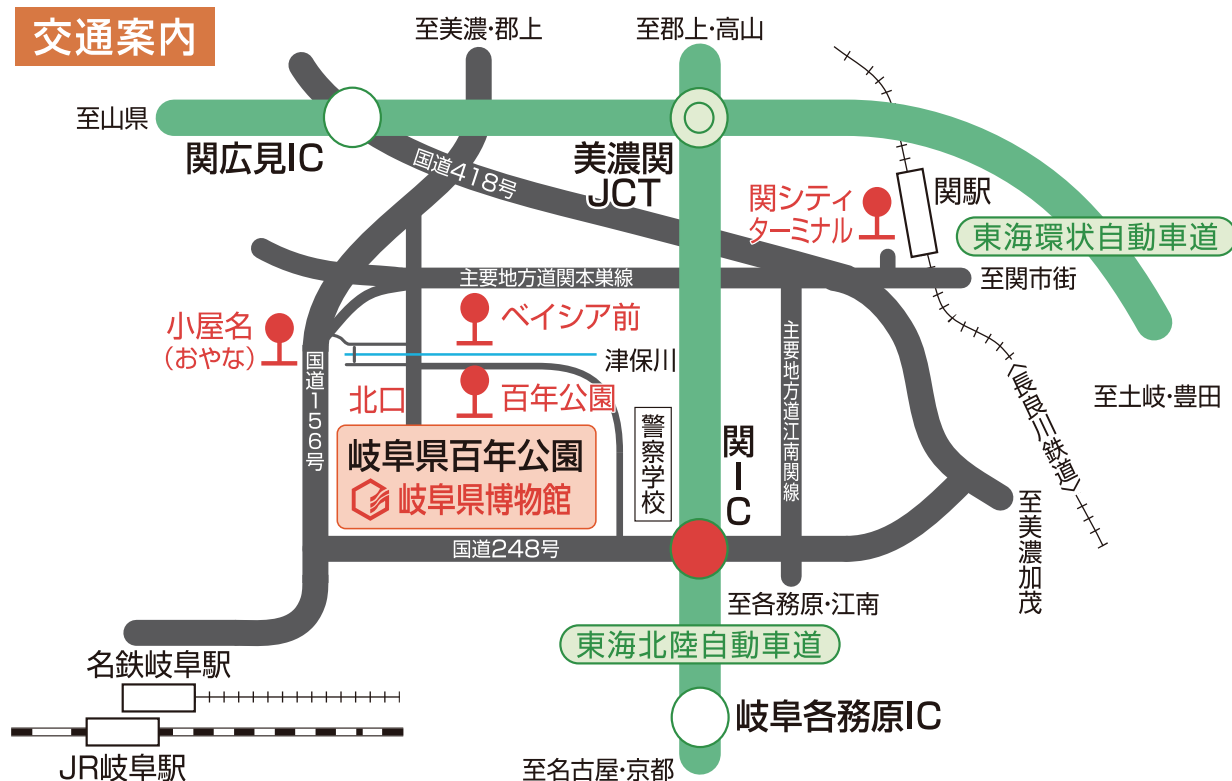
区分	本館		マイ・ミュージアム
	通常	特別展開催中	
一般	340(280)円	600(520)円	無料
大学生	110(50)円	300(200)円	
高校生以下	無料	無料	

（ ）は20名以上の団体

- 休館日 ・月曜日（祝日または休日の月曜日は開館し、その直後の平日が休館）  
・年末年始（12月29日～翌年1月3日）

- 駐車場 岐阜県百年公園北口駐車場をご利用ください。

### 交通案内



- 東海北陸自動車道 関インターから車で5分
- 岐阜バス（小屋名バス停下車 徒歩20分）  
※岐阜駅方面からは、岐阜バスターミナル又はJR岐阜駅14番乗り場でご乗車ください。（岐阜関線、岐阜美濃線）  
※関駅からは、関駅西側の関シティターミナルバス停からご乗車ください。（岐阜関線）
- 関シティバス（百年公園バス停下車 300m）  
※関駅からは、関駅西側の関シティターミナルバス停からご乗車ください。（わかくさ・小金田線、わかくさ・千疋線）

お車でお越しの方は岐阜県百年公園北口駐車場（無料）をご利用ください。  
北口から博物館まで300mです。歩行が困難な方は博物館入口までお車の乗り入れができますので、百年公園管理事務所までお申し出ください。  
※南口駐車場から博物館までは、徒歩約2km（勾配有り）です。

# 清流の国ぎふ憲章

～ 豊かな森と清き水 世界に誇れる 我が清流の国 ～

「清流の国ぎふ」に生きる私たちは、

**知**

清流がもたらした自然、歴史、伝統、文化、技を知り学びます

**創**

ふるさとの宝ものを磨き活かし、新たな創造と発信に努めます

**伝**

清流の恵みを新たな世代へと守り伝えます

平成26年1月31日 「清流の国ぎふ」づくり推進県民会議

## 岐阜県博物館報 第44号

令和3年(2021)4月1日 発行

編集・発行 岐阜県博物館  
関市小屋名1989(岐阜県百年公園内)  
TEL (0575) 28-3111

印 刷 株式会社 大一プリント